

東京メトロ東西線「大手町駅」B7 出口から直結

ご挨拶

第281回日本循環器学会関東甲信越地方会

会長 日比 潔

横浜市立大学 医学部 循環器内科学

第281回日本循環器学会関東甲信越地方会の開催に際して、ご挨拶申し上げます。

近年、超高齢社会の進展に伴い、患者さんの病態や背景はますます複雑かつ多様になっています。急性冠症候群や心不全、弁膜症、不整脈、肺高血圧症など、いずれの領域においても、高度医療、低侵襲治療が目覚ましい進歩を遂げ、診療科や職種の垣根を超えた医療を提供することが求められています。

このような状況を踏まえ学会のテーマは、「循環器診療のダイバーシティ～多診療科・多職種で創る新たな循環器医療～」といたしました。

本テーマの元で内科、外科、メディカルスタッフを含む多職種の先生方が学び、議論できるプログラムを多く企画いたしました。会長企画では急性冠症候群ならびに肺高血圧症診療の最新知見を取り上げるとともに、教育セッションでは不整脈診療や弁膜症低侵襲治療における内科・外科連携をテーマといたしました。また、左心耳閉鎖術をめぐる内科・外科それぞれの立場からの議論、メディカルスタッフセッションや心不全療養指導士カフェ、ダイバーシティフォーラムなど、多職種・多診療科が一堂に会し、それぞれの視点から循環器医療の未来を考える場を設けています。

教育にも力を入れ、研修医セミナーや心臓イメージングのハンズオンセッション、さらに前回好評であったサマースクールに続いて医学生・女性医学生・研修医を対象としたオータムスクールを開催いたします。地方会の魅力は、第一線で活躍する先生方と若い世代が身近な距離で交流し、率直に議論できることにあります。本会が、循環器診療の魅力を体感し、新たな仲間がこの分野へ一歩踏み出す契機となることを願っております。

今回で281回を迎える伝統ある地方会の会長を務めさせていただきますことを大変光栄に存じます。これまで諸先輩方が築き上げてこられた歴史を受け継ぎながら、多様な価値観や専門性が融合する、新しい時代の地方会を皆様とともに創り上げたいと考えております。

本地方会が、診療科や職種、世代を超えた学びと刺激に満ちた場となることを願っております。関東甲信越各地より多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

【発表者の方へ】

発表はすべてPCプレゼンテーションとなりますので、二次元コードより要領をご確認の上、ご発表の30分前までにPCセンターへお越し下さい。



第281回 日本循環器学会関東甲信越地方会

日時：令和8年9月26日（土）

会場：ステーションコンファレンス東京 4・5・6階（千代田区）

会長：横浜市立大学 医学部 循環器内科学 日比 潔

第Ⅰ会場		第Ⅱ会場		第Ⅲ会場		第Ⅳ会場	
8:50	開会挨拶						
9:00	会長企画セッションⅠ ACS診療の現在と未来 演者：池田 祐毅 新家 俊郎 上妻 謙 前原 晶子 P6	9:00	一般演題 1 静脈	9:00	一般演題 3 心不全	9:00	一般演題 5 不整脈 1
		9:45	P9	9:50	P14	9:45	P19
		9:55	一般演題 2 末梢血管/大動脈	9:55	一般演題 4 先天性/川崎病	9:50	一般演題 6 不整脈 2
10:30	P6	10:30	P10	10:30	P15	10:35	P19
10:40	教育セッションⅠ 最新の不整脈治療 ～成人から小児まで～ 演者：庄田 守男 笹野 哲郎 永嶋 孝一 立野 滋 P6	10:40	循環器病対策推進委員会 企画セッション 脳心総合センター活動の現 状と課題 演者：岡村 智教 山岸 敬幸 豊田 茂 P10	10:40	地方会あり方検討委員会企 画セッション 心血管イベント抑制に対して、 積極的脂質低下療法は必要か？ 演者：秋山 琢洋 鈴木 裕子 岩田 洋 P15	10:40	一般演題 7 不整脈3
						11:15	P20
						11:25	一般演題 8 心臓・腫瘍/腫瘍循環器
12:10	P6	12:10	P10	12:10	P15	12:10	P21
12:20	ハイブリット ランチョンセミナー アミロイドーシスの歴史から治 療まで 演者：安東 由喜雄 共催：Ainylam Japan P6	12:20	ランチョンセミナー 1 慢性心不全 演者：猪又 孝元 共催：バイエル薬品 P11	12:20	ランチョンセミナー 2 ATTR-CM診療 最新知見 演者：小西 正紹 児玉 隆秀 共催：ファイザー P16	12:20	ランチョンセミナー 3 心不全ステージA/Bにおける高 血圧治療～心不全予防ステート メントより～ 演者：井澤 英夫 共催：大塚製薬 P22
13:10	P6	13:10	P11	13:10	P16	13:10	P22
13:20	教育セッションⅡ 弁膜症低侵襲治療における 内科と外科の協調 演者：松下 絢介 吉武 明弘 大野 洋平 田端 実 P7	13:20	予防委員会企画セッション 循環器病予防対策の最前線 演者：田淵 貴大 浅野 拓 塚田（哲翁）弥生 石津 智子 P11	13:20	第28回ダイバーシティ・ フォーラム 他分野・国外の事例から考 える循環器医療のミライ 演者：塚田（哲翁）弥生 阿部 拓朗 小坂 鎮太郎 加藤 修孝 弓野 大 P16	13:20	研修医セミナー 研修医が知りたい循環器基 礎知識 演者：石津 智子 齋藤 佑一 小菅 雅美 大門 雅夫 P22
14:50	P7	14:50	P11	14:50	P16	14:50	P22
15:00	会長企画セッションⅡ 肺高血圧症診療の最前線 演者：平出 貴裕 八尾 厚史 島原 佑介 小村 直弘 P7	15:00	デザートセミナー 1 ATTR-CM 演者：遠藤 仁 共催：アレクシオンファーマ P11	15:00	デザートセミナー 2 肥満症 演者：齋藤 佑一 共催：ノボ ノルディスク ファーマ P16	15:00	デザートセミナー 3 「若手Dr必見！今学ぶOCTが、これからの PCIの武器になる」～読影・治療戦略・ エビデンスから学ぶOCTガイドPCI～ 演者：福島 裕介 森山 優一 共催：アボットメディカルジャパン P22
		15:50	P11	15:50	P16	15:50	P22
16:30	P7	16:00	Student Award	16:00	Clinical Research Award	16:00	デザートセミナー 6 閉塞性肥大型心筋症 診断と治療 演者：小保方 優 末永 祐哉 共催：プリストル・マイヤーズ スクイブ P22
16:40		17:00	P11	16:50	P16	16:50	P22
	特別講演 演者：林 文子 崔 宗宝 P8	17:10	Case Report Award	17:00	Resident Award		
17:50	P8	18:00	P12	17:50	P17		
18:00	閉会挨拶	18:10	社員総会				

【専門医単位登録に関して】

専門医単位に関するセッション（地方会参加単位、教育セッション）は、セッション開始前に単位登録手続デスクへお越しくださいま
すようお願い申し上げます。

セッション終了後には単位のご登録ができないためご注意ください。

また地方会参加単位登録（5単位）、教育セッション（3単位）はそれぞれ単位の登録手続きを行っていただく必要がございます。

お手数ではございますがそれぞれの単位のご登録をお願いいたします。

■「地方会参加単位」（5単位）受付時間 9:00～18:00（開催終了まで）

■「教育セッション」（3単位）受付時間 10:10～11:40/12:50～14:20（開始30分前から終了30分前まで）

■「医療安全・医療倫理に関する講習会」（2単位）受付時間 15:30～17:30（開始30分前から終了30分前まで）

第Ⅴ会場		第Ⅵ会場		第Ⅶ会場		第Ⅷ会場		オータムスクール会場	
9:00	一般演題 9 心筋炎・心筋症 1 P23	9:00	一般演題 1 3 虚血性心疾患 1 P27			9:00	モーニングセミナー Smplicity Spyrat が導く 高血圧治療の新たな可能性 演者：青木 二郎 共催：日本メドトロニック	9:00	循環器 オータムスクール
9:35		9:35				9:50	P33		
9:45	一般演題 1 0 心筋炎・心筋症 2 P23	9:45	一般演題 1 4 虚血性心疾患 2 P27			10:00	会長特別企画 拡大する低侵襲左心耳 閉鎖術～胸腔鏡下外科 的閉鎖術と経カテーテル 閉鎖術の棲み分けは？～ 演者：松本 崇 中山 泰介 P33		
10:20		10:30				11:10			
10:30	一般演題 1 1 心筋炎・心筋症 3 P24	10:40	一般演題 1 5 虚血性心疾患 3 P28			11:20			
11:05		11:25				12:10	一般演題 1 8 メディカルスタッ フセッション P33		
11:20	一般演題 1 2 心内膜炎 P25	11:35	一般演題 1 6 虚血性心疾患 4 P29						
12:10		12:10				12:20		12:20	P37
12:20	ランチョンセミナー 4 肺高血圧症診療のアップ デート 演者：高間 典明 共催：日本新薬 ヤンセンファーマ P26	12:20	ランチョンセミナー 5 循環器医から見た薬剤 的肥満症治療の意義 演者：清木 有宏 共催：田辺ファーマ・ 日本イーライリリー P30	12:20	ランチョンセミナー 6 今求められるAS診療とは 一適応拡大と長期成績一 演者：仁科 秀崇 原 英彦 共催：エドワーズライザインス P32	12:20	ランチョンセミナー 7 SGLT2阻害薬 演者：坂田 泰彦 共催：アストラゼネカ P34		
13:10		13:10		13:10		13:10			
13:20	会長企画セッションⅢ メディカルスタッ フセッション 多職種で支える心不全 診療の最前線～急性期 から在宅までをつなぐ 実践アプローチ～ 演者：浅井 邦也 笠原 哲治 村澤 孝秀 原島 祐貴 染谷 涼子 P26	13:20	学術委員会企画 セッション AF合併心不全攻略法：ア ブレーション×デバイス×構造的 治療×薬物治療を語りつくす 演者：徳田 道史 水上 暁 出雲 昌樹 松本 新吾 P30	14:00	会長企画セッションⅣ ハンズオンセッション 心臓イメージング の読み方をマス ターしよう！ 講師：加藤 真吾 木下 美乃里 澤村 駿吾 中島 理恵 吉井 智洋 P32	13:20	一般演題 1 9 弁膜症 1 P34		
14:50		14:50		15:50		14:10		14:20	
15:00	デザートセミナー 4 CKM症候群を見据えた包括的診療戦略 ～ジャディアンス10mgの活かし方～ 演者：桑原 宏一郎 共催：日本ベーリンガー インゲルハイム P26	15:00	デザートセミナー 5 PAH 演者：小村 直弘 共催：MSD P30	15:50		14:50	一般演題 2 0 弁膜症 2 / 肺高血圧 P35	15:05	
15:50		15:50		16:00		15:15	一般演題 2 1 全般的問題 / その他 P36	15:45	
16:00	デザートセミナー 7 AERO-Volution in Calcium Modification Expanding What's Possible 演者：植木 康志 劉澤 高行 共催：Shockwave Medical Japan P26	16:00	デザートセミナー 8 Why Drug Intervention / How Drug Intervention with PCSK9mAb 演者：和田 英樹 共催：アムジェン P30	16:00	心不全療養指導士 カフェ 心不全再入院予防 指導管理料を用い た心不全地域連携 について話し合おう P39	16:00	医療安全・医療倫 理に関する講習会 (DVDセッション) P36		
16:50		17:00	一般演題 1 7 デバイス P30	18:00					
		17:50							

第Ⅰ会場

会長企画セッションⅠ

9:00-10:30

座長（横浜市立大学医学部循環器内科学）日比 潔

座長（北里大学医学部循環器内科学）阿古 潤哉

ACS診療の現在と未来

急性心筋梗塞に対する機械的循環補助の現状と展望

（北里大学医学部循環器内科学）池田 祐毅

現代ACSの多様性：ガイドラインと実臨床のスキマを埋める考察

（昭和医科大学医学部内科学講座循環器内科学部門）新家 俊郎

医師の働き方改革施行後のACS診療

（帝京大学医学部内科学講座・循環器内科）上妻 謙

冠動脈Imagingの最前線：閉塞性ACSからMINOCAまで、病態理解と診断

（高木病院医療情報部）前原 晶子

教育セッションⅠ

10:40-12:10

座長（東邦大学大学院医学研究科循環器内科学）池田 隆徳

座長（横浜市立大学附属病院循環器内科）細田 順也

最新の不整脈治療～成人から小児まで～

植込み型心臓電気デバイスのリードマネジメント

（東京女子医科大学循環器内科）庄田 守男

基礎研究から心電図AIへ、不整脈診療への貢献

（東京科学大学循環器内科）笹野 哲郎

見えたぞ、房室結節という名のブラックボックス!?

（日本大学医学部循環器内科）永嶋 孝一

先天性心疾患に合併する不整脈の管理

（千葉市立海浜病院成人先天性心疾患診療部）立野 滋

ハイブリットランチョンセミナー

12:20-13:10

共催：Alnylam Japan株式会社

座長（千葉大学大学院医学研究院循環器内科学）小林 欣夫

アミロイドーシスの歴史から治療まで

21世紀の疾患：ATTRアミロイドーシスの診断と最新の治療 ～疾患と歩んだ歴史と共に～

（杉村病院アミロイドーシス診療・研究サポートセンター/長崎国際大学）安東由喜雄

教育セッションⅡ

13:20-14:50

座長（横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター外科） 内田 敬二
座長（榊原記念病院循環器内科） 高見澤 格
コメンテーター（東邦大学医療センター大森病院循環器内科） 佐地 真育
コメンテーター（東京女子医科大学循環器内科） 山口 淳一
コメンテーター（横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター外科） 輕部 義久
コメンテーター（帝京大学医学部心臓血管外科学講座） 今水流智浩

弁膜症低侵襲治療における内科と外科の協調

TAVI 患者の lifetime management と適応拡大：長期予後と再介入を見据えて

（横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科）

松下 絢介

菊地進之介、寺坂 謙吾、中井 優作、服部 京子、

吉井 智洋、岡田 興造、岩橋 徳明

（横浜市立大学医学部循環器内科学教室）

日比 潔

AS患者に対するSAVRの現状：TAVIとの棲み分け

（埼玉医科大学国際医療センター心臓血管外科）

吉武 明弘

MR/TRに対するTEERの役割：適応と限界

（東海大学医学部付属病院循環器内科）

大野 洋平

MR/TRに対する外科治療とlifetime management

（順天堂大学心臓血管外科）

田端 実

会長企画セッションⅡ

15:00-16:30

座長（横浜南共済病院心臓血管外科） 孟 真
座長（国際医療福祉大学医学部循環器内科） 田村 雄一
コメンテーター（東邦大学医療センター大橋病院循環器内科） 池田 長生
コメンテーター（さいたま赤十字病院循環器内科） 狩野 実希

肺高血圧症診療の最前線

多様化するPAH診療 ～現状の課題と今後の展望～

（慶應義塾大学医学部循環器内科）

平出 貴裕

ACHD-shunt-associated PAHに対するTreat & Repair

（東京大学保健・健康推進本部）

八尾 厚史

CTEPHに対する外科的治療

（東京医科大学病院心臓血管外科）

島原 佑介

（東京医科大学病院循環器内科）

山下 淳、伊藤 亮介

CTEPHに対するBPAと薬物療法の進歩

（横浜市立大学医学部循環器内科学）

小村 直弘

日比 潔

特別講演

16:40-17:50

座長（横浜市立大学医学部循環器内科学）日比 潔

座長（東海大学医学部内科学系循環器内科学）伊 莉 裕二

仕事を通して人は成長する

～夢をもってキャリアを拓く

（飛鳥フォールディングス株式会社社外取締役/

株式会社ノジマ社外取締役/大洋建設株式会社社外取締役）

林 文子

オペラ歌唱

（バリトン歌手）

崔 宗宝

第Ⅱ会場

一般演題 セッション1 静脈

9:00-9:45

座長（済生会横浜市南部病院循環器内科）菅野 晃靖

座長（獨協医科大学病院心臓・血管内科/循環器内科）渡邊 諒

コメンテーター（聖マリアンナ医科大学循環器内科）田邊 康宏

Ⅱ-1 著明な片側性下肢浮腫を呈した腸骨静脈域の特発性後腹膜線維症に、血管内治療とステロイドが奏功した一例

（済生会横浜市南部病院循環器内科）

境 駿佑

悦田浩太郎、中田 明道、栗原 直人、結城 翔多、

高田 龍司、成川 雅俊、仲地 達哉、菅野 晃靖

Ⅱ-2 右房内に漂う可動性に富む血栓を認めた肺塞栓症の一例

（横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科）

吉井 智洋

服部 京子、花島 陽平、堤 勝彦、桐ヶ谷英邦、

菊地進之介、田口 有香、中橋 秀文、松下 絢介、

岡田 興造、小菅 雅美、岩橋 徳明

（横浜市立大学附属市民総合医療センター臨床検査科臨床検査部）

海老名俊明

（横浜市立大学医学部循環器内科学）

日比 潔

Ⅱ-3 右外腸骨静脈狭窄を引き起こしたIgG4関連動脈周囲炎の一例

（多摩総合医療センター循環器内科）

細野 将太

磯貝 俊明、藤井 駿、田中 西佳、三輪 裕仁、

立石 桜、櫻井進一郎、鈴木 利章、宮部 倫典、

高砂 聡志、三ッ橋佑哉、神島 一帆、加藤 賢

（多摩総合医療センターリウマチ膠原病内科）

上田 佳孝、横川 直人

Ⅱ-4 若年静脈塞栓症を契機に診断されPROC変異の病的意義を検討し得た先天性プロテインC欠乏症の一例

（東京大学医学部附属病院循環器内科/

日本赤十字社医療センター循環器内科）

吉富祐太郎

（東京大学医学部附属病院循環器内科）

岸川 理紗、黒住 篤優、伊藤 正道、八木 宏樹、

武田 憲彦

Ⅱ-5 心停止を来した重症肺血栓塞栓症の塞栓源となった特発性左外腸骨静脈瘤の1例

（草加市立病院循環器内科）

栗根 隆介

松本 龍元、鯨岡 裕史、田代 燦、戸舎 稚詞、

須藤 悠太、古浦 賢二、岡田 寛之、石丸 剛、

稲垣 裕

（草加市立病院心臓血管外科）

櫻井 翔吾、黒木 秀仁

（東京科学大学病院循環器内科）

笹野 哲郎

Ⅱ-6 自己免疫性溶血性貧血に肺塞栓症を合併した一例

（新百合ヶ丘総合病院循環器内科）

後藤 茉莉

工藤 侃、櫻井 馨、森田 真菜、内藤 倫人、

西尾 祥郎、原 果里奈、田仲 明史、秋元 耕、

山上 洋介、高橋 良英

（東京科学大学循環器内科）

笹野 哲郎

一般演題 セッション2 末梢血管/大動脈

9:55-10:30

座長（横浜市立大学附属市民総合医療心臓血管センター外科） 輕部 義久
座長（前橋赤十字病院心臓血管内科） 反町 秀美
コメンテーター（湘南藤沢徳洲会病院外科） 倉田 修治

II-7 両側腎動脈狭窄に対する経皮的腎動脈形成術後に腎不全を呈した1例

（東京都立豊島病院） 町田 宗将
畑 明宏、中島 淳、藤波 竜也、仲村 太一、
川勝 紗樹、角田 貴大、松田 凌也、高橋 巧宅

II-8 橈骨動脈Aライン抜去後に仮性動脈瘤をきたした急性肺塞栓症の1例

（JCHO東京新宿メディカルセンター循環器内科） 田中 梨紗
松尾 龍介、坂本 友也、上西 将之、下地 由華、
佐藤 弘典、橋崎 容史、谷地 織、斉藤 哲也

II-9 高度閉塞性換気障害を伴う腹部大動脈瘤に対して慎重な周術期管理を行ったEVARの1例

（帝京大学医学部心臓血管外科学講座） 長嶺 嘉通
尾澤 直美、角屋敷健太、今泉 勇人、黒澤健一郎、
安齊 渉、林 拓人、御子柴晴樹、津村 康介、
兼村 禎大、陳 軒、内山 雅照、今水流智浩、
下川 智樹

II-10 T2*強調画像所見が脳梗塞リスク評価に有用であった可能性のある急性B型大動脈解離の1例

（埼玉医科大学国際医療センター） 高橋 一朗
保谷 洋貴、荒井 隆秀、中埜信太郎

II-11 次世代CMOS血管内視鏡による大動脈プラーク観察の初期使用経験

（日本大学医学部附属板橋病院循環器内科） 小嶋 啓介
田中 雄大、福本 勝文、江渕 康柔、新井 陸、
右田 卓、奥村 恭男

循環器病対策推進委員会企画セッション

10:40-12:10

座長（信州大学医学部循環器内科学教室） 桑原宏一郎

座長（自治医科大学公衆衛生学兼循環器内科学） 桑原 政成

脳心総合センター活動の現状と課題

脳卒中と循環器病の危険因子とその予防：循環器病対策法後成立前後の予防施策の展開と今後の展望

（慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学） 岡村 智教

東京都脳心総合支援センターの現状と成人先天性心疾患移行期支援の課題

（東京都立小児総合医療センター） 山岸 敬幸

栃木県における脳卒中・心臓病等総合支援センター活動の現状と課題

（獨協医科大学病院心臓・血管内科/循環器内科） 豊田 茂
（自治医科大学循環器内科） 星出 聡、荻尾 七臣

ランチョンセミナー 1 12:20-13:10 共催：バイエル薬品株式会社
座長（横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター）岡田 興造
慢性心不全

「心不全を予防する」
（新潟大学大学院医歯保健学研究科循環器内科学） 猪又 孝元

予防委員会企画セッション
13:20-14:50
座長（自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科）藤田 英雄
座長（昭和医科大学医学部内科学講座・循環器内科学部門）木庭 新治

循環器病予防対策の最前線

AI・新型タバコ時代の禁煙支援
（東北大学公衆衛生学分野） 田淵 貴大

冠動脈疾患の再定義：虚血中心の医療から生涯にわたる予防への意識変容の必要性
（聖路加国際病院循環器内科） 浅野 拓

脳卒中・循環器病克服第3次五か年計画 予防領域について
（日本医科大学武蔵小杉病院救急・総合診療センター総合診療科） 塚田（哲翁）弥生

健康ハートの日2026における日本循環器協会の取り組み
（筑波大学医学医療系循環器内科） 石津 智子

デザートセミナー 1 15:00-15:50 共催：アレクシオンファーマ合同会社
座長（千葉大学大学院医学研究院循環器内科学）小林 欣夫
ATTR-CM

ATTR診療の新たなカタチ ～血中TTR濃度で考える治療～
（慶應義塾大学医学部循環器内科） 遠藤 仁

Student Award
16:00-17:00
座長（榊原記念病院附属クリニック循環器内科）井口 信雄
座長（北里大学医学部循環器内科学）阿古 潤哉
審査委員長（防衛医科大学校循環器内科）足立 健
審査委員（山梨大学医学部附属病院循環器内科）佐藤 明
審査委員（国際医療福祉大学三田病院循環器内科）木村 茂樹
審査委員（横浜市立大学医学部薬理学教室）徳留 健

II-12 発熱精査で偶発的に発見された青黛誘発性肺動脈性肺高血圧症：休薬とPAH治療により改善した一例
（群馬大学医学部医学科6年） 山下 宥佳
（群馬大学医学部附属病院循環器内科） 高間 典明、川崎 新、野中 捺希、石尾洵一郎、
石橋 洋平、長坂 崇司、石井 秀樹

II-13 HFpEFとHFrEFにおける予後予測構造の比較
（日本医科大学医学部医学科） 梶 俊哉
稲見 優希
（日本医科大学衛生学公衆衛生学） 加藤 活人、大塚 俊昭
（日本医科大学付属病院循環器内科） 太良 修平、久保田芳明、浅井 邦也
（日本医科大学医療管理学） 西野 拓也

II-14 経カテーテル的大動脈弁植込み術患者における表情・音声指標と心不全リスクおよび術後変化の検討
 (千葉大学医学部医学科) 藤原 聡志
 (千葉大学医学部附属病院循環器内科) 北原 秀喜、石木田修平、原田 悠斗、中村 俊介、
 大北 翔吾、都田 昂、小林 欣夫
 (横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科) 池水 守彦、岡田 興造、日比 潔

II-15 家族性胸部大動脈瘤・解離における神経関連異常と解離感受性亢進
 (自治医科大学附属病院臨床研究センター TR研究推進部/
 群馬大学医学部医学科) 富田 翔大
 奥畑 普賢
 (自治医科大学附属病院臨床研究センター TR研究推進部) 相澤 健一
 (自治医科大学) 永井 良三

II-16 急性心筋梗塞に合併した心室中隔穿孔に対し機械的補助循環管理により待機的に外科的修復を行い救命した1例
 (日本医科大学医学部医学科6年) 樋口百合花
 (日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科) 浅見 慎思、脇田 真希、川村 崇、鈴木 裕貴、
 木村 徳宏、澁谷 淳介、中田 淳、宮地 秀樹、
 山本 剛
 (日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科) 細川 雄亮
 (日本医科大学心臓血管外科) 丸山 雄二、石井 庸介
 (日本医科大学循環器内科) 浅井 邦也

II-17 急性冠症候群の非責任病変における冠動脈狭窄度と不安定プラークの病理学的検討
 (東海大学医学部医学科) 大西 慶
 (東海大学循環器内科) 鳥居 翔、佐藤 優、相原 一樹、伊莉 裕二

Case Report Award 17:10-18:00

座長 (千葉大学循環器内科学) 小林 欣夫
 座長 (順天堂大学大学院医学研究科循環器内科) 南野 徹
 審査委員長 (聖マリアンナ医科大学循環器内科) 明石 嘉浩
 審査委員 (東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 原 英彦
 審査委員 (慶應義塾大学医学部循環器内科) 香坂 俊
 審査委員 (筑波大学医学医療系循環器内科) 石津 智子

II-18 高度肺動脈圧値と咯血を呈し早期sotatercept追加が有用であった特発性肺動脈性肺高血圧症(IPAH)の1例
 (杏林大学医学部付属病院循環器内科) 百瀬 利一
 伊波 巧、竹内かおり、菊池 華子、合田あゆみ、
 河野 隆志、副島 京子

II-19 植込み型除細動器の植込みを行った抗ミトコンドリアM2抗体陽性心筋炎の二例の比較検討
 (東京都立墨東病院循環器内科) 齊田 冠斗
 青山 拓令、須藤 篤史、宮本欧史朗、宮本絢一朗、
 道浦 悠、長友 理樹、長塩 憲司、高山 陽、
 市原 登

II-20 心不全治療中の利尿により心タンポナーデが顕在化し診断に至った超高齢結核性心膜炎の1例
 (東邦大学医療センター大森病院) 齋藤 滉大
 菊島 朋生、天野 英夫、橋本 英伸、小池 秀樹、
 矢部 敬之、大久保 亮、佐地 真育、木内 俊介、
 藤野 紀之、中西 理子、久武 真二、池田 隆徳

- Ⅱ-21 免疫抑制治療なしで病状の寛解が得られた急性巨細胞性心筋炎の一例
(新潟大学医歯学総合病院循環器内科) 澤口 源太
柏村 健、田村 匠、平山 頌、酒井 亮平、
井神 康宏、久保田直樹、猪又 孝元
- Ⅱ-22 重症肺血栓塞栓症治療中の出血性合併症および消化管穿孔を契機に壊血病が判明した一例
(日本大学医学部附属板橋病院) 山田 和志
新井 陸、長尾 哲郎、江渕 康柔、平田 脩、
小嶋 啓介、奥村 恭男

第Ⅲ会場

一般演題 セッション3 心不全

9:00-9:50

座長（聖路加国際病院循環器内科） 西畑 庸介
座長（東京科学大学病院循環器内科） 荒木 誠
コメンテーター（東海大学医学部付属病院循環器内科） 伊地知 健

Ⅲ-1 左室駆出率の低下した心不全患者に対して心臓同期療法や僧帽弁クリップ術等の集学的治療を行った一例
（済生会横浜市東部病院） 小山 智久

伊藤 良明、小林 範弘、毛利 晋輔、堤 正和、
宮田 雅大、山口 航平、深川 知哉、今峰衣理香、
村井 篤弥、谷中 夏海、藤井陽太郎、島津慶一郎

Ⅲ-2 超高齢者両側大量胸水の臨床的意義
（報徳会宇都宮病院） 茅野 眞男

Ⅲ-3 Treatable traitsに着目し管理した喘息・COPD・心不全overlapの1例
（獨協医科大学心臓・血管内科/循環器内科） 徳田 真吾

梅園 龍、佐久間理吏、西野 節、和久隆太郎、
廣瀬 優、橋本 涼太、井上 莉里、鈴木立二郎、
和田 茉与、前田甲雄太、豊田 茂

Ⅲ-4 CRT適応心不全における伝導系ペーシングと両心室ペーシングの比較：無作為化比較試験の統合解析
（筑波大学医学群医学類） 岡村 結
（順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科） 黒田 俊介、相川 忠夫
（東京科学大学循環器内科） 河村 岩成
（ハーバード大学） 工野 俊樹

Ⅲ-5 非造影心臓MRIによるnative T1 mappingがトラスツズマブ関連心筋障害の経過観察に有用であった1例
（国際親善総合病院循環器内科） 松田 督

山崎 皓平、松村 賢治、硯川 佳祐、瀬川 知、
永嶋 善幸、清水 誠

Ⅲ-6 劇症型溶血性レンサ球菌感染症に伴う混合性ショックに対し機械的循環補助を用いて救命し得た1例
（日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科） 小貫 仁暉

澁谷 淳介、渡邊 将央、木村 徳宏、脇田 真希、
中田 淳、宮地 秀樹、山本 剛

（日本医科大学付属病院循環器内科） 浅井 邦也
（日本医科大学付属病院高度救命救急センター） 藤原 風子

Ⅲ-7 労作時息切れに心臓リハビリテーションとSGLT2阻害薬が著効した一例
（国際親善総合病院循環器内科） 山崎 皓平

清水 誠、永嶋 善幸、松田 督、硯川 佳祐、
松村 賢治、瀬川 知

一般演題 セッション4 先天性/川崎病

9:55-10:30

座長（長野県立こども病院循環器小児科エコーセンター、移行期医療支援センター） 瀧間 浄宏

座長（筑波大学附属病院循環器内科） 川松 直人

コメンテーター（横浜市立大学附属病院循環器内科） 中島 理恵

Ⅲ-8 経皮的卵円孔開存閉鎖術中にバルサルバ洞圧排がありデバイスを変更した1例

（榊原記念病院循環器内科） 布木 誠之

七里 守、木島 康文、高見澤 格、磯部 光章

（榊原記念病院小児循環器内科） 吉敷香奈子、矢崎 諭

Ⅲ-9 完全房室ブロックを契機に診断された先天性心膜欠損と巨大左心耳の一例

（上尾中央総合病院循環器内科） 井原 健人

増田新一郎、籠田 正幸、松本 琴美、松岡佳和璃、
杉山 晴紀、渡邊健太郎、田中小百合、宮崎 至、
佐橋 秀一、宮下耕太郎、李 勅熙、鍵山弘太郎、
新谷 嘉章、中島 祥文、中野 将孝、林 健太郎、
谷本 周三、緒方 信彦、一色 高明

（上尾中央総合病院放射線技術科） 井田 篤

Ⅲ-10 冠動脈血栓塞栓症の精査で判明した卵円孔開存に対してカテーテル閉鎖術を施行した1例

（榊原記念病院循環器内科） 古川 亜実

西岡 文音、萩谷 健一、木島 康文、高見澤 格、
七里 守、磯部 光章

Ⅲ-11 大動脈解離治療後、心房細動が発生、治療困難も成功した胸郭変形著明な漏斗胸合併マルファン症候群の1例

（千葉西総合病院循環器内科） 森岡 慶次

三角 和雄、佐藤 明、新田 正光

（千葉西総合病院心臓血管外科） 中山 泰介、中村 喜次、安元 勇人

（国際医療福祉大学医学部市川メディカルセンター循環器内科） 船橋 伸禎

Ⅲ-12 左右の複数の形態の冠動脈病変により突然死に至った川崎病遠隔期の解剖例

（昭和医科大学） 三原まりあ

関本 輝雄、新家 俊郎、松山 高明、森 ちひろ

地方会あり方検討委員会企画セッション

10:40-12:10

座長（帝京大学医学部内科学講座・循環器内科） 上妻 謙

座長（東京女子医科大学循環器内科） 山口 淳一

心血管イベント抑制に対して、積極的脂質低下療法は必要か？

Consの立場から：心血管イベントは脂質だけでは決まらない ～ Total Cardiovascular Riskから考える予防戦略～

（新潟市民病院循環器内科） 秋山 琢洋

Prosの立場から：Pushing Beyond the Guidelines

（東邦大学医療センター大橋病院循環器内科） 鈴木 裕子

Prosの立場から：動脈硬化は進行性疾患である ～動脈硬化モデル・コレステロール蓄積から考える脂質低下戦略～

（新潟市民病院循環器内科） 秋山 琢洋

Consの立場から：The elephants in the room

（東邦大学医療センター大橋病院循環器内科） 鈴木 裕子

「積極的脂質低下療法」の現在地：だれに・どこまで・どうやって

（順天堂大学循環器内科） 岩田 洋

ランチョンセミナー 2

12:20-13:10

共催：ファイザー株式会社

座長（横浜市立大学医学部循環器内科学） 日比 潔

ATTR-CM診療 最新知見

時に迷う心アミロイドーシスへの治療導入～2施設認定5年間の経験から～

（横浜市立大学医学部循環器内科学） 小西 正紹

ATTR-CMの臨床試験・実臨床から読み解く心不全・心筋症治療の未来

（虎の門病院循環器センター内科） 児玉 隆秀

第28回ダイバーシティ・フォーラム

13:20-14:50

座長（医療法人社団ゆみの）

弓野 大

座長（カエルネストクリニック株式会社 Medtech JP株式会社ドクターズインク） 薬師寺忠幸

他分野・国外の事例から考える循環器医療のミライ

関東甲信越地方会ダイバーシティ企画のあゆみ

（日本医科大学武蔵小杉病院救急・総合診療センター総合診療科） 塚田（哲翁） 弥生

循環器内科医が医系技官として働くキャリア／厚労省が考える循環器医療の未来

（厚生労働省健康・生活衛生局がん疾病対策課/埼玉医科大学総合医療センター心臓内科） 阿部 拓朗

広尾病院における Proactive acute care の取り組み

－ 総合診療を使ってケア統合を実装する －

（東京都立広尾病院病院総合診療科） 小坂鎮太郎

東南アジアの医療の現在地 ― 多様化する医療現場と日本の医師の関わり ―

（MRT株式会社） 加藤 修孝

当法人における人材育成の取り組み

（医療法人社団ゆみの） 弓野 大

デザートセミナー 2

15:00-15:50

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

座長（聖マリアンナ医科大学循環器内科） 出雲 昌樹

肥満症

心血管イベントを意識した肥満症治療

（千葉大学医学部附属病院循環器内科） 齋藤 佑一

Clinical Research Award

16:00-16:50

座長（昭和医科大学医学部内科学講座循環器内科学部門） 新家 俊郎

座長（群馬大学循環器内科） 石井 秀樹

審査委員長（昭和医科大学藤が丘病院循環器内科） 鈴木 洋

審査委員（三井記念病院循環器内科） 田邊 健吾

審査委員（横浜栄共済病院循環器内科） 野末 剛

審査委員（横浜市立大学外科治療学） 齋藤 綾

Ⅲ-13 AIロボットアームを用いた自律的心エコー検査の実現可能性

（東京大学附属病院循環器内科） 五十嵐 諒

小寺 聡、山崎智永実、岸川 理紗、篠原 宏樹、

中西 弘毅、石田 純一、武田 憲彦

Ⅲ-14 HCMにおけるミトコンドリアクリステ異常の予後規定因子の解析

(筑波大学医学医療系循環器内科)

仲野 晃司
山本 昌良、南 健太郎、川松 直人、佐藤 希美、
町野 智子、石津 智子

Ⅲ-15 経カテーテル的大動脈弁留置術後の心臓リハビリテーションによる心機能改善効果と心筋線維化の影響

(横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科)

吉井 智洋
松下 絢介、山口 健太、呉 俊樹、中井 優作、
服部 京子、寺坂 謙吾、菊地進之介、花島 陽平、
堤 勝彦、桐ヶ谷英邦、田口 有香、中橋 秀文、
岡田 興造、小菅 雅美、岩橋 徳明

(横浜市立大学附属市民総合医療センター臨床検査科臨床検査部)

(横浜市立大学医学部循環器内科学)

海老名俊明
日比 潔

Ⅲ-16 演題取り下げ

Ⅲ-17 HIS束の心室への伝導性を評価する。発作性心房細動症例における心室レートとCTによるHIS束性状評価との関連

(千葉西総合病院循環器内科)

山本 樹
佐藤 明、新田 正光、浅野 裕樹、三角 和雄

(東京慈恵会医科大学葛飾医療センター循環器内科)

(群馬県立心臓血管センター循環器内科)

(国際医療福祉大学市川メディカルセンター循環器内科)

山下 省吾
中村 紘規
船橋 伸禎

Resident Award

17:00-17:50

座長 (日本医科大学循環器内科) 浅井 邦也
座長 (慶應義塾大学医学部循環器内科) 家田 真樹
審査委員長 (東京女子医科大学循環器内科) 山口 淳一
審査委員 (日本大学医学部内科学系循環器内科学分野) 奥村 恭男
審査委員 (横須賀市立総合医療センター循環器内科) 荒木 浩
審査委員 (榊原記念病院循環器内科) 七里 守

Ⅲ-18 遷延する冠攣縮から急性心筋梗塞を発症し、二峰性の経過でLöffler心内膜炎を呈した一例

(昭和医科大学病院医師臨床研修センター)

(昭和医科大学江東豊洲病院循環器センター循環器内科)

林 あや乃
佐藤 千聡、合田 周平、浅川 将輝、石永 智之、
相澤 直樹、佐藤 俊弥、古屋 貴宏、西藏 天人、
池田 尚子、若林 公平

Ⅲ-19 新規PROS1フレームシフト変異による家族性プロテインS欠乏症に伴う若年発症CTEPHに対しBPAが著効した一例

(国際医療福祉大学三田病院初期研修医)

(国際医療福祉大学三田病院心臓血管センター)

榎本 稜
藤井 寛之、磯部 更紗、山口 幸宏、萬野 智子、
岩澤 仁、木村 茂樹、合屋 雅彦、田村 雄一

Ⅲ-20 肺動脈血栓塞栓症加療後、肺血管病変残存例で労作時呼吸苦の原因としてCTEPDとHFpEFの鑑別を要した一例

(立川病院循環器内科) 清家 功大

影山 智己、成田 理貴、中野順之佑、矢野 修平、
伊倉 秀彦、江頭 徹、森谷 和徳、三田村秀雄

(慶應義塾大学循環器内科) 安西 淳

Ⅲ-21 持続性心房細動に対する左房天蓋部へのパルスフィールドアブレーション中に、多枝冠攣縮を発症した1例

(国立病院機構災害医療センター循環器内科) 森田 薫

野崎小百美、羽生 佳弘、土居 惇一、山下 周、
白井 康大、大野 正和、清水 茂雄

Ⅲ-22 抗凝固療法変更で肺高血圧が増悪し血管内視鏡がその効果判定に有用であった慢性血栓塞栓性肺高血圧症の一例

(新潟市民病院循環器内科) 菰澤 一太

尾崎 和幸、林 由香、木村 晴彦、加藤 晃帆、
内藤 大智、秋山 琢洋、廣木 次郎、柏 麻美、
大久保健志、田中 孔明、保坂 幸男、高橋 和義

第Ⅳ会場

一般演題 セッション5 不整脈1

9:00-9:45

座長（昭和医科大学藤が丘病院循環器内科） 大西 克実

座長（東邦大学医療センター大森病院循環器内科） 篠原 正哉

コメンテーター（杏林大学医学部付属病院循環器内科） 勝目 有美

Ⅳ-1 心房細動へのカテーテルアブレーション後に医原性心房中隔欠損症による右-左シャントをきたした一例
（茅ヶ崎市立病院循環器内科） 宮川 秀一

遠藤 雅志、澤野 莉沙、近藤 愛、三橋 孝之、
中戸川知頼

（東海大学医学部付属病院循環器内科） 上岡 智彦

Ⅳ-2 重症心不全を呈した頻拍誘発性心筋症にカテーテルアブレーションが著効した13歳女兒の1例
（東京科学大学病院循環器内科） 奥井 裕太

河村 岩成、坂本 達哉、本田 雅希、磯谷 善隆、
立石 遼、西村 拓朗、井原 健介、田尾 進、
滝川 正晃、宮崎 晋介、笹野 哲郎

Ⅳ-3 PVCに対するカテーテルアブレーション後に生じたPTE/DVTの一例

（東邦大学医療センター大橋病院循環器内科）

横森 広樹
清水 貴之、山本 純平、浅見 雅子、佐原 尚彦、
林 典行、中村啓二郎、飯島 雷輔、原 英彦

Ⅳ-4 左房後壁へのmodified posterior lineが頻拍停止に有効だった中隔型Batrial tachycardiaの一例
（君津中央病院循環器内科/千葉大学循環器内科） 古田 圭将

石村 昌之、山本 雅史

（千葉大学循環器内科） 小林 欣夫

Ⅳ-5 下大静脈起源心房頻拍への治療が有効であった、再発性心房細動の一例

（自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科）

白木 瑛一
林 達哉、山本 真吾、大橋 潤平、坂倉 建一、
藤田 英雄

Ⅳ-6 左室下壁の心筋梗塞瘢痕を基質としながら下方軸を呈した、左脚後枝プルキンエ網起源心室性期外収縮の一例

（横浜労災病院循環器内科） 神庭真実子

服部 正幸、今若 楽明、堀米 旭、浅野 駿逸、
小和瀬晋弥、長田 淳、青木 元、柚本 和彦

一般演題 セッション6 不整脈2

9:50-10:35

座長（筑波大学附属病院循環器内科） 篠田 康俊

座長（杏林大学病院循環器内科） 野々口紀子

コメンテーター（藤沢市民病院循環器内科） 井上 満穂

Ⅳ-7 アナモレリン投与後に高度伝導障害から突然死に至った一例

（上越総合病院循環器内科）

金田 真弥
亀島 充、正印 航、正印 恭子、宮尾 陽平、
上野 匠

IV-8 エピネフリン負荷試験が診断に有用であったカテコラミン誘発多型性心室頻拍の一例

(東京女子医科大学循環器内科)

渡邊正之介

菊池 健介、可児 邦広、片岡 翔平、矢崎恭一郎、
山口 淳一

(東京女子医科大学循環器内科/

東京女子医科大学先進電気的心臓制御研究部門)

柳下 大悟、樋口 諭、庄田 守男

IV-9 メチルジゴキシンの経口急速飽和療法により重篤なジギタリス中毒を呈した一例

(昭和医科大学医学部学生)

佐藤 瑠香

(昭和医科大学江東豊洲病院循環器内科)

西藏 天人、合田 周平、浅川 将輝、石永 智之、
相澤 直樹、佐藤 俊弥、古屋 貴宏、佐藤 千聡、
池田 尚子、若林 公平

IV-10 洞不全症候群に対してペースメーカー植込み術を施行したAL心アミロイドーシスの一例

(杏林大学医学部)

阿部 尚樹

(杏林大学医学部付属病院循環器内科)

勝目 有美、川村 陽大、谷口凜太郎、永松 佑基、
栗屋 徹、富樫 郁子、佐藤 俊明、村田 光繁、
河野 隆志、副島 京子

IV-11 心房細動アブレーション症例におけるP波 terminal force と心房機能の検討

(自治医科大学医学部医学科)

古久保仁紅

(自治医科大学内科学講座循環器内科学)

甲谷 友幸、渡邊 裕昭、横田 彩子、上岡 正志、
渡部 智紀、小森 孝洋、牧元 久樹、今井 靖、
菊尾 七臣

IV-12 植込み型除細動器の待機中に生じた心室頻拍に対して着用型自動除細動器が有効であった肥大型心筋症の一例

(日本医科大学医学部医学科)

迎 晃輔

伊藤 紳晃、岡田 氷、小林 誠、築山 寛、
関 俊樹、鈴木 啓士、相澤 義泰、時田 祐吉、
浅井 邦也、岩崎 雄樹

一般演題 セッション7 不整脈3

10:40-11:15

座長 (横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科) 田口 有香

座長 (済生会横浜市南部病院循環器内科) 成川 雅俊

コメンテーター (東京科学大学循環器内科) 河村 岩成

IV-13 発作性心房細動に対するcryoablation後の再発抑制効果の時間構造：再構築個別患者データメタアナリシス

(防衛医科大学校医学科6年)

吉田翔太郎

(防衛医科大学校病院循環器内科)

岩坪 真白、池上 幸憲、長友 祐司、足立 健

(防衛医科大学校数学科)

中村 好宏

IV-14 高度房室ブロックを伴う心房頻拍、心房細動を呈し、アブレーションで拡張左上肺静脈起源と疑われた漏斗胸例

(国際医療福祉大学医学部医学科)

和田 治大

(東京慈恵会医科大学葛飾医療センターリハビリテーション科)

山下 省吾

(群馬県立心臓血管センターリハビリテーション科)

中村 紘規

(国際医療福祉大学市川メディカルセンター)

船橋 伸禎

- IV-15 若年発症の洞不全症候群に対してリードスペースメーカを選択した症例
 (北里大学病院循環器内科) 田中 陸雄
 (北里大学医学部循環器内科学) 小林 周平、石末 成哉、深谷 英平、阿古 潤哉
- IV-16 豊胸術後遠隔期に発症した完全房室ブロックに対し造影CT評価に基づき経静脈ペースメーカ植込みを行った一例
 (横浜市立大学附属病院循環器内科) 山田 優
 細田 順也、木野 旅人、石井 怜、木根 佑奈、
 石川 利之、日比 潔
- IV-17 カテーテルアブレーション後に気道閉塞リスクを伴う頸部血腫を来した上甲状腺動脈損傷の1例
 (横浜医療センター初期研修医) 黒田 李花子
 (横浜医療センター循環器内科) 日丸 陽介、佐藤 諒太郎、堀内 充、高橋 実来、
 犬塚 慶、武久 佳央、廣部 航平、前田 遼造、
 齋藤 貴士、森 文章

一般演題 セッション8 心臓・腫瘍/腫瘍循環器

11:25-12:10

座長 (東京大学医学部附属病院循環器内科) 金子 英弘
 座長 (自治医科大学内科学講座循環器内科学部門) 石山 裕介
 コメンテーター (昭和医科大学藤が丘病院循環器内科) 磯 良崇

- IV-18 血管内視鏡および心腔内超音波ガイド下生検が確定診断に有用であった原発不明右室扁平上皮癌の1例
 (山梨大学医学部附属病院循環器内科) 猪股 大智
 吉崎 徹、後藤 剛顕、佐藤 明
 (市立甲府病院) 宮原 徳也
- IV-19 血栓との鑑別を要した右心系腫瘍を伴う上顎洞癌に対し集学的治療により長期生存が得られた一例
 (横浜市立大学附属病院循環器内科) 浅井 真成
 峯岸慎太郎、日比 潔
 (横浜市立大学附属病院耳鼻咽喉科) 吉田 興平
 (横浜市立大学附属病院循環器内科/横浜市立大学附属病院放射線科) 加藤 真吾
- IV-20 左室原発滑膜肉腫の収縮期大動脈弁脱出により重症大動脈弁狭窄様血行動態を呈した1例
 (日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科) 百瀬 健史
 渡辺 允、細川 雄亮、伊藤 乃波、河野 文哉、
 小林 誠、瀬崎あやの、澤 昌 摩那、大塚 悠介、
 蜂須賀誠人、福泉 偉、黄 俊憲、丸山 光紀
 (日本医科大学武蔵小杉病院心臓血管外科) 前田 基博、村田 智洋、丸山 雄二、坂本俊一郎
- IV-21 転移性心臓腫瘍により高度房室伝導障害を来したが、放射線照射によりペースメーカー留置を回避し得た1例
 (さいたま市立病院循環器内科) 安藤 大晃
 醍醐 恭平、藤澤 大志、梶野 了誉、今枝 昇平、
 中澤 直美、武井 眞、細井 雅孝
- IV-22 ARNIを含むRAS作用薬とがん発症リスク：RCTに基づくネットワークメタ解析
 (横浜市立大学附属病院循環器内科) 中野渡康太郎
 金岡 知彦、浅井 真成、峯岸慎太郎、日比 潔

IV-23 IMPELLA・VA-ECMOを併用した管理(ECPELLA)にて救命し得た化学療法関連心筋症(CTRCD)の一例
 (東京慈恵会医科大学附属柏病院循環器内科) 出口 実耶
 佐々木 裕、飯塚 公己、齋藤恵理子、中山 稜、
 松本 拓也、福島 啓介、横山 正明、木村 悠、
 木下 浩司、小武海公明
 (東京慈恵会医科大学附属病院循環器内科) 徳田 道史

ランチョンセミナー 3 12:20-13:10 共催：大塚製薬株式会社
 座長 (横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科) 岩橋 徳明
 心不全ステージA/Bにおける高血圧治療ー心不全予防ステートメントよりー
 (藤田医科大学循環器内科学) 井澤 英夫

研修医セミナー
 13:20-14:50
 座長 (東邦大学大学院医学研究科循環器内科学) 池田 隆徳
 座長 (横浜市立大学医学部循環器内科学) 大塚 文之

研修医が知りたい循環器基礎知識

先天性心疾患診療の基本ー研修医が押さえておきたい診かたと考えかた
 (筑波大学医学医療系循環器内科) 石津 智子

循環器医は数字を大事にーだまされずに上手に使うために
 (千葉大学医学部附属病院循環器内科) 齋藤 佑一

急性冠症候群の心電図診断
 (横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科) 小菅 雅美

押さえておきたい胸部X線読影の基本：心臓病を見逃さないために
 (東京女子医科大学循環器内科) 大門 雅夫

デザートセミナー 3 15:00-15:50 共催：アボットメディカルジャパン合同会社
 座長 (湘南鎌倉総合病院) 穴戸 晃基
 コメンテーター (横浜市立大学附属病院) 児玉 翔
 コメンテーター (国保旭中央病院) 井上 雅巨

「若手Dr必見！今学ぶOCTが、これからのPCIの武器になる」
 ～読影・治療戦略・エビデンスから学ぶOCTガイドPCI～

OCTの基礎編: ～知っておきたい基本知識～
 (藤沢湘南台病院) 福島 裕介

OCTの実践編: ～PCIにおける活用ポイント～
 (東京都立大久保病院) 森山 優一

デザートセミナー 6 16:00-16:50 共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
 座長 (横浜市立大学医学部循環器内科学) 小西 正紹

閉塞性肥大型心筋症 診断と治療

今日から始める！HCM評価のための心エコー
 (群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学) 小保方 優

閉塞性肥大型心筋症に対する薬物治療の進歩
 (順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学) 末永 祐哉

第V会場

一般演題 セッション9 心筋炎・心筋症1

9:00-9:35

座長 (東京大学医学部附属病院高度心不全治療センター) 網谷 英介

座長 (東海大学医学部付属病院循環器内科) 吉川万里江

コメンテーター (横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科) 服部 京子

V-1 ②当院で経験した、発症様式の異なる心サルコイドーシスの2例

(栃木県済生会宇都宮病院循環器内科)

鈴木 崇仁

松村 英斉、新屋 貴章、吉島 信宏、西田 裕明、

古瀬 領人、八島 史明、森 健支、横田 裕之、

下地顕一郎

V-2 免疫抑制療法で完全房室ブロックが消失し永久ペースメーカー植込みを回避した心臓サルコイドーシスの一例

(聖隷横浜病院心臓血管センター内科)

笠間 武瑠

富島 佳之、山中遼太郎、長谷川和喜、仙波 貴之、

中島 啓介、五十嵐 建、河合 慧、芦田 和博

(聖隷横浜病院心臓血管センター外科)

乗松 東吾

V-3 同時圧測定を行い右室心尖部ペーシングの有効性を示した閉塞性肥大型心筋症の一例

(日本医科大学付属病院循環器内科)

江崎桜也佳

小山賢太郎、谷口 清和、平山 浩章、岡島 周平、

蜂須賀誠人、野間さつき、松下 誠人、時田 祐吉、

相澤 義泰、岩崎 雄樹、浅井 邦也

V-4 慢性骨髄性白血病の治療中に難治性胸水貯留を契機として診断したAL心アミロイドーシスの一例

(東京医科大学病院循環器内科学分野)

鈴木 盛夫

伊藤 亮介、高田洋一郎、佐々木雄一、富士田康宏、

濱 知明、小林 正武、山本 博之、山下 淳、

武井 康悦、小菅 寿徳、里見 和浩

V-5 冠微小循環障害の関与が示唆される心原性ショックを契機に診断し得たATTR心アミロイドーシスの一例

(藤沢市民病院循環器内科)

山下 恭平

太田 慶介、塚原 健吾、高野 桂子、井上 満穂、

久慈正太郎、内田浩太郎、岡崎 善則、関矢 圭祐、

岩本雄太郎、西竹 美緒

一般演題 セッション10 心筋炎・心筋症2

9:45-10:20

座長 (榊原記念病院循環器内科) 高見澤 格

座長 (新潟大学医歯学総合病院循環器内科) 酒井 亮平

コメンテーター (北里大学循環器内科) 石井 俊輔

V-6 一過性完全房室ブロックを合併したがペースメーカー植込みは回避できたたこつば症候群の一例

(AOI国際病院循環器内科)

米内 竜

鎌田 龍明、重田 卓俊、川島 朋之、川端美穂子、

平尾 見三

V-7 Impella CPによる循環補助を要した急性リンパ球性心筋炎の一例
 (聖路加国際病院内科専攻医) 秋元 大輝
 (聖路加国際病院循環器内科) 奥井 健太、鈴木 隆宏、齊藤 輝、高岡 慶光、
 蟹江 崇芳、弓田 悠介、大野 雅文、宮田宏太郎、
 西畑 庸介、浅野 拓、水野 篤、新沼 廣幸、
 増田 慶太、椎名 由美、青木 二郎

V-8 ビタミンB1欠乏の関与が示唆された可逆性左室収縮能低下の1例
 (横浜市立大学医学部医学科) 川俣 夏瑛

V-9 左室内血栓が原因と思われる急性動脈閉塞症を発症した好酸球性心筋炎の一例
 (相模原病院循環器内科) 原田 直哉
 木村明香里、高橋 広軌、岡島 裕一、山本明日香、
 福岡 雅浩、前島 信彦、森田有紀子
 (大和成和病院心臓血管外科) 出淵 亮、田畑美弥子

V-10 高度房室ブロックを初発症状とし多発リンパ節腫大を契機に心臓サルコイドーシスの診断がついた一例
 (横須賀共済病院) 佐々木香穂
 張 峻模、木所 和資、岩佐 一輝、新井 亮太、
 峯尾 亮、高口 知之、伊藤 諒、矢野 弘崇、
 菱刈 景一、川口 直彦、中島永美子、村井 典史、
 田中 泰章、大久保健史、疋田 浩之、高橋 淳

一般演題 セッション11 心筋炎・心筋症3 10:30-11:05

座長 (北里大学医学部循環器内科学) 鍋田 健
 座長 (山梨大学医学部附属病院循環器内科) 相沢 聖子
 コメンテーター (昭和医科大学藤が丘病院循環器内科) 辻内 美希

V-11 臨床的改善後に好酸球増多が出現し診断に至った好酸球性心筋炎の1例
 (順天堂大学医学部附属浦安病院循環器内科) 太田 悠介
 鈴木 隆誠、島井 亮輔、磯貝 浩之、尾崎 大、
 高須 清、小田切史徳、高村 和久、宮崎 哲朗、
 戸叶 隆司
 (順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科) 南野 徹

V-12 非造影心臓MRIによるnative T1 mappingが肥太心の原因精査に有用であった2例
 (国際親善総合病院循環器内科) 松田 督
 山崎 皓平、松村 賢治、硯川 佳祐、瀬川 知、
 永嶋 善幸、清水 誠

V-13 トロポニン陽性非閉塞性冠動脈の経過観察中に完全房室ブロックを発症し心サルコイドーシス診断に至った一例
 (横須賀市立総合医療センター循環器内科) 前田 和輝
 羽柴 克孝、坂 賢一郎、吉田 裕紀、片岡 俊介、
 南本 祐吾、山脇 理弘、泊口 哲也、黒木 茂、
 荒木 浩、岩澤 孝昌、沼田 裕一

V-14 子宮体癌術後にたこつば症候群を発症しImpella CPにより救命できた一例
 (千葉大学医学部) 白木 七海
 (千葉大学医学部附属病院循環器内科) 渡邊 悠斗、加藤 賢、小林 欣夫

V-15 心肥大症例で、 β 遮断薬や抗血小板薬、脱水で心拍数が変化し、左室大動脈間、左室内圧較差が悪化した2症例

(国際医療福祉大学医学部医学科) 中川 杏香
(国際医療福祉大学医学部市川メディカルセンター循環器内科) 野島 永司、船橋 伸禎
(国際医療福祉大学市川メディカルセンターリハビリテーション科) 関根希和子、伊豆蔵英明

一般演題 セッション12 心内膜炎

11:20-12:10

座長 (みなと赤十字病院循環器内科) 有馬 秀紀
座長 (信州大学医学部附属病院循環器内科) 大熊ゆかり
コメンテーター (横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科) 吉井 智洋

V-16 化膿性心膜炎、感染性心内膜炎を併発した敗血症の一例

(日本医科大学千葉北総病院臨床研修センター) 小川 容史
(日本医科大学付属病院循環器内科) 平山 浩章、千葉みさこ、永井 大貴、岡島 周平、
松下 誠人、野間さつき、浅井 邦也

V-17 急性心筋梗塞から診断に至った感染性心内膜炎の一例

(神奈川県立循環器呼吸器病センター循環器内科) 石井 一帆
福井 和樹、黒光 弦也、安倍 大晴、鍵本美奈子、
鈴木 弘之、郷原 正臣、井口 公平

V-18 Aspergillus感染性心内膜炎による多発冠動脈塞栓に対しIVUSおよび病理学的評価が診断に有用であった1例

(東京医科大学病院循環器内科/
東京医科大学八王子医療センター循環器内科) 竹内 文寿
(東京医科大学八王子医療センター循環器内科) 池谷 太郎、久保 隆史、田中 信大
(東京医科大学八王子医療センター感染症科) 立石 哲則、平井 由児

V-19 成人男性に発症したKingella kingaeによる三尖弁単独感染性心内膜炎の一例

(東京女子医科大学病院循環器内科) 立木 聡馬
曾根麻衣子、湯浅 綾乃、城谷 翔太、菊池 規子、
大門 雅夫、山口 淳一
(東京女子医科大学病院心臓血管外科) 新浪 博士

V-20 免疫抑制状態およびPFOの関与が示唆された両心室性感染性心内膜炎の1例

(自治医科大学附属病院循環器内科) 縣 侑子
須田 直樹、栗原 綾乃、小林 久也、藤原 健史、
小形 幸代、原田 顕治、荻尾 七臣
(自治医科大学附属病院心臓血管外科) 川人 宏次

V-21 大動脈弁置換術後早期に発症し診断に難渋した人工弁感染性心内膜炎の1例

(国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院診療部循環器内科) 藤木 洋佑
根本 美芽、飯野 綾香、石黒 恵、大島祐太郎、
木村裕一郎、岩城 卓、野末 剛

V-22 感染性心内膜炎に合併した感染性動脈瘤および出血性合併症の一例

(SUBARU健康保健組合太田記念病院循環器内科) 北原 裕輝
渡邊 宏哉、小林 巧、梶原 啓吾、加藤 豪浩、
湯澤 雅哉、伊藤 貢世、福山 千仁、矢口 知征、
矢部 顕人、武中 宏樹、根本 尚彦、安齋 均

ランチョンセミナー 4 12:20-13:10 共催：日本新薬株式会社/ヤンセンファーマ株式会社
座長（横浜市立大学医学部循環器内科学）小村 直弘

肺高血圧症診療のアップデート

肺高血圧症を見逃さないための診療戦略
（群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学） 高間 典明

会長企画セッションⅢ メディカルスタッフセッション
13:20-14:50

座長（かわぐち心臓呼吸器病院循環器内科）秋山 英一
座長（横浜市立大学附属病院放射線部）坂野 智一

多職種で支える心不全診療の最前線～急性期から在宅までをつなぐ実践アプローチ～

進化する治療戦略と多職種でつなぐ心不全マネジメント
（日本医科大学循環器内科） 浅井 邦也
久保田 芳明
（日本医科大学千葉北総病院集中治療室） 白壁 章宏

心不全診療を支える画像戦略－胸部X線からCT・MRIまで－
（千葉大学医学部附属病院放射線部） 笠原 哲治

デバイス治療と遠隔モニタリングによる心不全管理
（東京医科大学八王子医療センター臨床工学部） 村澤 孝秀

診療看護師による心不全看護とアセスメント
～フィジカルアセスメントとPOCUSを活用した実践～
（聖マリアンナ医科大学病院循環器内科） 原島 祐貴
（聖マリアンナ医科大学病院） 鈴木 規雄、栗田 真吾、出雲 昌樹

心不全に対する運動療法とフレイル対策の実践
（横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション部） 染谷 涼子
（横浜市立大学附属市民総合医療センター） 中橋 秀文、佐伯 拓也、岩橋 徳明
（横浜市立大学附属病院） 日比 潔

デザートセミナー 4 15:00-15:50 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
座長（横浜市立大学医学部循環器内科学）日比 潔

CKM症候群を見据えた包括的診療戦略-ジャディアンス10mgの活かし方-
（信州大学医学部循環器内科学教室） 桑原宏一郎

デザートセミナー 7 16:00-16:50 共催：Shockwave Medical Japan株式会社
座長（国際医療福祉大学市川総合病院）南 尚賢

AERO-Volution in Calcium Modification :Expanding What's Possible

Shockwave AEROが拓く石灰化病変治療の新時代
（信州大学医学部附属病院） 植木 康志

エビデンスで見る！IVL 120パルスのClinical Value
（北里大学病院） 割澤 高行

第Ⅵ会場

一般演題 セッション 13 虚血性心疾患 1

9:00-9:35

座長 (東京大学医学部附属病院循環器内科) 皆月 隼

座長 (慶應義塾大学医学部循環器内科) 木村 舞

コメンテーター (横浜市立大学附属病院循環器内科) 児玉 翔

Ⅵ-1 インクリシランナトリウム(INC)がブラック性状に与える影響。冠動脈AI解析ソフトを用いた性状変化の検討。

(みなみ野循環器病院循環器内科) 川田健太郎
幡 芳樹、松三 博明、二階堂 暁、江島浩一郎

Ⅵ-2 左冠動脈主幹部狭窄により冠動脈造影で評価不十分となるも冠動脈CT・心臓MRIでCABGへ繋ぐことが出来た一例

(国際親善総合病院循環器内科) 松村 賢治
永嶋 善幸、清水 誠、硯川 佳祐、松田 督、
山崎 皓平、瀬川 知

Ⅵ-3 右冠動脈入口部のeruptive calcified noduleに対してOrbital Atherectomy・DCAを施行した一例

(武蔵野赤十字病院循環器内科) 赤 俊多郎
足利 貴志、渡邊 剛史、高熊 朗、小井土文香、
齊藤 一平、吉光寺直哉、松田 和樹、大平 麻貴、
加地 大悟、照井 麻央、堀江 知樹、長瀬 将、
三澤 透、金子 雅一、李 哲民、永田 恭敏、
野里 寿史

Ⅵ-4 院外心停止後の心原性ショックを伴う急性前壁ST上昇型心筋梗塞に対しpVAD先行導入が有効であった1例

(昭和医科大学藤が丘病院循環器内科) 角田 美友
辻内 美希、井関 彩乃、武井 洋介、磯 良崇、
鈴木 洋

Ⅵ-5 VSP閉鎖術後に冠攣縮による右冠動脈近位部の一過性完全閉塞を認めた一例

(横須賀市立総合医療センター病院循環器内科) 前田 和輝
坂 賢一郎、吉田 裕紀、片岡 俊介、南本 祐吾、
羽柴 克孝、山脇 理弘、泊口 哲也、黒木 茂、
荒木 浩、岩澤 孝昌、沼田 裕一

一般演題 セッション 14 虚血性心疾患 2

9:45-10:30

座長 (新潟市民病院高度先進医療センター) 尾崎 和幸

座長 (東京女子医科大学病院 循環器内科) 柴橋 英次

コメンテーター (横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科) 花島 陽平

Ⅵ-6 De Winter patternで発症したSTEMIの一例

(横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科) 西村武佐志
岡田 興造、松下 紬介、中橋 秀文、田口 有香、
菊地進之介、桐ヶ谷英邦、堤 勝彦、花島 陽平、
吉井 智洋、近藤 寿哉、寺坂 謙吾、服部 京子、
森田 峻介、三枝 雄樹、中井 優作、川口 柊真、
岩橋 徳明、小菅 雅美、日比 潔

- VI-7 運動誘発性高カリウム性周期性四肢麻痺合併例に対するオフポンプ冠動脈バイパス術の周術期管理
(順天堂大学医学部附属練馬病院心臓血管外科) 宮下 桃
山本 平、李 智榮、嶋田 晶江、土肥 静之
- VI-8 造影CT先行評価が治療戦略決定に有用であった非ST上昇型急性心筋梗塞の一例
(横浜市立大学附属病院循環器内科) 山本 侑慶
大塚 文之、菅原 拓哉、山田 優、鈴木 徹、
中島 理恵、小村 直弘、細田 順也、小西 正紹、
日比 潔
(横浜市立大学附属病院放射線診断科) 加藤 真吾、宇都宮大輔
(横浜市立大学附属市民総合医療センター循環器内科) 田口 有香
- VI-9 ST上昇型心筋梗塞を呈し、OCTで冠動脈内血栓を認めた冠攣縮性狭心症の一例
(東海大学医学部付属八王子病院循環器内科) 金井 太郎、奥津 匡暁、猪股 大貴、笠井 智司、
牛島 明子、吉町 文暢
- VI-10 高度狭窄を責任病変とする特発性冠動脈解離に対して保存的治療が奏功した一例
(日本赤十字社東京都支部大森赤十字病院循環器内科) 平賀 晴大
奥田 純、島田 基、安原 容子、川島 千佳、
中島 良太、堀内 優、酒井 将人、大岡 昂
- VI-11 唐辛子の調理中に心肺停止に至った一例
(三井記念病院循環器内科) 下野 里奈
田邊 健吾

一般演題 セッション15 虚血性心疾患3

10:40-11:25

座長 (自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 陣内 博行
座長 (東京慈恵会医科大学附属病院循環器内科) 白崎 圭輔
コメンテーター (藤沢湘南台病院循環器内科) 福島 裕介

- VI-12 IgG4高値を呈した冠動脈周囲炎の2例 ～他臓器病変を欠くIgG4関連疾患疑診例の検討～
(横浜市立大学附属病院循環器内科) 石井 怜
大塚 文之、小西 正紹、小村 直弘、鈴木 徹、
児玉 翔、菅原 拓哉、阿部茉莉愛、日比 潔
(横浜市立大学附属病院血液・リウマチ・感染症内科) 小宮 孝章、吉見 竜介
- VI-13 VA-ECMOとImpella CPで救命し得た急性心筋梗塞後の心室中隔穿孔および左室自由壁破裂の一例
(土浦協同病院循環器内科) 廣井 駿太
金地 嘉久、渡邊 雄祐、細川 凱生、村上 愛実、
渡邊 崇弘、左山 耕大、上野 弘貴、白井 英祐、
角田 恒和
- VI-14 LV summit起源の心室性不整脈が左回旋枝末梢PCIによって消失した1例
(東京慈恵会医科大学葛飾医療センター循環器内科) 吉村 直紘
山下 省吾、白神 達朗、新谷健太郎、櫻井竜太郎、
河津 圭佑、大瀬戸宏綱、池田 和也、板倉 良輔、
南井 孝介
(東京慈恵会医科大学循環器内科) 徳田 道史

VI-15 外科治療困難な感染性冠動脈瘤と重症僧帽弁閉鎖不全に対してカテーテル治療が奏功した一例
 (筑波大学附属病院循環器内科) 川邊 優希
 渡部 浩明、小林 大輝、中谷 敦、土屋 亮介、
 鮎澤 祥吾、寺内 泰観、平谷 太吾、石津 智子

VI-16 胸腺扁平上皮癌の心膜浸潤が原因と考えられる非ST上昇型急性心筋梗塞の1例
 (横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科) 川口 柊真
 岡田 興造、寺坂 謙吾、花島 陽平、堤 勝彦、
 菊地進之介、上村 大輔、田口 有香、中橋 秀文、
 松下 絢介、小菅 雅美、海老名俊明、岩橋 徳明
 (横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科/
 横浜市立大学附属病院循環器内科学教室) 日比 潔

VI-17 直接作用型第Xa因子阻害剤中和剤に関連した冠動脈血栓症による急性心筋梗塞の一例
 (東京医科大学八王子医療センター循環器内科) 川向 泰斗
 池谷 太郎、川上 恵、瀧原 主也、山下 祐貴、
 出口 陽之、中島 悠希、北村 美樹、池田 和正、
 大西 将史、高濱 博幸、久保 隆史、田中 信大

一般演題 セッション16 虚血性心疾患4 11:35-12:10

座長 (横浜労災病院循環器内科) 青木 元
 座長 (昭和医科大学医学部内科学講座循環器内科部門) 酒井孝志郎
 コメンテーター (相模原病院循環器内科) 前島 信彦

VI-18 左冠動脈主幹部真性紡錘状瘤を伴う分岐部病変に対してDK CrushによるPCIを施行した一例
 (日本大学医学部附属板橋病院) 山田 和志
 新井 陸、長尾 哲郎、福本 勝文、田中 雄大、
 小嶋 啓介、奥村 恭男

VI-19 VA-ECMO留置に伴う高度溶血を契機に急性腎障害をきたした急性心筋梗塞の一例
 (公立藤岡総合病院研修管理センター) 堀口 梨央
 (公立藤岡総合病院循環器内科) 高松 寛人、濱松 雅裕、西尾 理沙、小野 洋平、
 山岸 美保、植田 哲也、間渕由紀夫

VI-20 背部誘導が診断に有用であった後壁梗塞の2例
 (横浜栄共済病院循環器内科) 多田 直輝
 岩城 卓、根本 美芽、飯野 綾香、藤木 洋佑、
 石黒 恵、大島祐太郎、木村裕一郎、野末 剛

VI-21 心筋架橋に合併したMINOCAの一例
 (立川メディカルセンター立川総合病院) 山谷 英里
 那須野暁光、高橋 稔、田山 雄大、川村 碩人、
 田代 啓太、末永 慎吾、太田 雄輔、佐藤 光希、
 布施 公一、藤田 聡、北澤 仁、岡部 正明
 (新潟大学医歯学総合病院医歯学総合研究科循環器内科学) 猪又 孝元

VI-22 経皮的冠動脈インターベンションにおけるガイド法と臨床転帰：最新試験を含むネットワークメタ解析
 (慶應義塾大学医学部) 杉井万里子
 (友愛医療センター循環器内科) 比留間百合子
 (江戸川病院循環器内科) 齋藤 哲也
 (順天堂大学大学院医学研究科循環器内科) 相川 忠生
 (ハーバード大学ベス・イスラエル・ディーコネス医療センター循環器内科) 工野 俊樹

ランチョンセミナー 5	12:20-13:10	共催：田辺ファーマ株式会社・日本イーライリリー株式会社 座長（横浜市立大学医学部循環器内科、日本赤十字社唐津赤十字病院） 園田 信成
循環器医から見た薬剤的肥満症治療の意義 （森山記念病院循環器センター）	清末 有宏	
学術委員会企画セッション 13:20-14:50		座長（日本大学医学部内科学系循環器内科学分野） 奥村 恭男 座長（慶應義塾大学医学部循環器内科） 家田 真樹
AF合併心不全攻略法：アブレーション×デバイス×構造的治療×薬物治療を語りつくす		
AF合併HFをアブレーションでどう攻めるか：PFA時代の治療成績と限界 （東京慈恵会医科大学循環器内科）	徳田 道史	
デバイスでどう攻めるか：刺激伝導系を活用した心臓再同期療法(CRT)の新時代とAFへの応用 （亀田総合病院循環器内科）	水上 暁	
心房性機能性MR/TRの攻略—構造的治療の適応と実際 （聖マリアンナ医科大学循環器内科）	出雲 昌樹	
意外と知らない心保護薬の「AFに効く薬、効かない薬」「AFでも効く薬、効かない薬」 （東海大学付属病院循環器内科）	松本 新吾	
デザートセミナー 5	15:00-15:50	共催：株式会社MSD 座長（東海大学医学部内科学系循環器内科学） 伊 莉 裕二
PAH		
PAHにおける早期治療戦略～エアウィン®のエビデンスと発売1年の実臨床経験から考える～ （横浜市立大学医学部循環器内科学）	小村 直弘	
デザートセミナー 8	16:00-16:50	共催：アムジェン株式会社 座長（横浜市立大学医学部循環器内科学） 大塚 文之
Why Drug Intervention / How Drug Intervention with PCSK9mAb		
「Drug intervention 2026 ～ Lipid managementを再考する～」 （順天堂大学医学部附属静岡病院循環器内科）	和田 英樹	
一般演題 セッション17 デバイス 17:00-17:50		座長（新潟大学大学院医歯保健学研究科循環器内科学） 長谷川 祐紀 座長（北里大学病院循環器内科） 石末 成哉 座長（群馬県立心臓血管センター循環器内科） 吉村 真吾
VI-23 左腕頭静脈瘤によるワイヤー通過困難に対しスネアカカテーテルが有用であった刺激伝導系ペーシングの1例 （昭和医科大学病院内科学講座循環器内科部門）	宮崎はるか 中村 友哉、落合 雅也、上野 倫平、甲斐 陽介、 石川 貴将、新井 脩平、吉川 浩介、浅野 拓	

- VI-24 ヘパリン起因性血小板減少症合併例におけるタインド型リードスペースメーカ植込みに難渋した一例
(日本大学病院循環器内科) 杉山 隆至
大塚 直人、平田 萌、藤戸 秀聡、門傳 昌樹、
八木 司、鷺尾 武彦、鈴木 康之、深町 大介、
横山 勝章、松本 直也、奥村 恭男
- VI-25 アプローチを大腿静脈から頸静脈に変更することで、リードスペースメーカの留置に成功した1例。
(平塚共済病院循環器内科) 早川 宗弥
大西 祐子、西川陽一郎、清川 篤、松本 拓己、
河本 梓帆、仁井田崇志、秋吉 基光、荒木 恵子、
岩井 慎介、小林 一士
- VI-26 ICDの心房リード穿孔により、肺損傷が疑われ外科的抜去に至った1例
(済生会横浜市南部病院循環器内科) 悦田浩太郎
成川 雅俊、境 駿佑、中田 明道、結城 翔多、
栗原 直人、高田 龍司、仲地 達哉、菅野 晃靖
(豊橋ハートセンター循環器内科) 所 卓見
- VI-27 Micra留置後早期dislodgeを来し、1ヵ月後経皮的抜去を施行した1例
(済生会横浜市南部病院循環器内科) 中田 明道
成川 雅俊、境 駿佑、悦田浩太郎、栗原 直人、
結城 翔多、高田 龍司、仲地 達哉、菅野 晃靖
- VI-28 心臓再同期療法適応症例に対する左脚領域ペーシングで早期に左室駆出率改善を得た一例
(東京慈恵会医科大学循環器内科) 雅楽 謙有
大瀬戸宏綱、山下 省吾、吉村 直紘、白神 達郎、
櫻井竜太郎、新谷健太郎、河津 圭佑、池田 和也、
板倉 良輔、南井 孝介、徳田 道史
- VI-29 Medtronic社製SelectSecure右室リードdislodgementに対する簡便で安全なbailout再留置法
(藤沢湘南台病院循環器内科) 福島 裕介
太田 慶介、北島 駿、上村 紘生、田口 奨悟

第Ⅶ会場

ランチョンセミナー 6

12:20-13:10

共催：エドワーズライフサイエンス合同会社

座長（湘南鎌倉総合病院）

山中 太

今求められるAS診療とは ― 適応拡大と長期成績 ―

地域で実践するASのProactive Management

（筑波メディカルセンター病院）

仁科 秀崇

PARTNER TrialからDurabilityを考える

（東邦大学医療センター大橋病院）

原 英彦

会長企画セッションⅣ ハンズオンセッション

14:00-15:50

心臓イメージングの読み方をマスターしよう！

心臓MRI画像の読み方

講師：加藤 真吾（横浜市立大学大学院医学研究科放射線診断学教室）

心臓CT画像の読み方

講師：木下美乃里（神奈川県立循環器呼吸器病センター放射線科）

澤村 駿吾（横浜市立大学附属病院放射線診断科）

成人先天性心疾患心臓エコー画像の読み方

講師：中島 理恵（横浜市立大学附属病院循環器内科）

経食道エコー ハンズオン

講師：吉井 智洋（横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科）

第Ⅷ会場

モーニングセミナー

9:00-9:50

共催：日本メドトロニック株式会社
座長（千葉大学大学院医学研究院循環器内科学） 小林 欣夫

Symlicity Spyral が導く 高血圧治療の新たな可能性

カテーテルを用いた 治療抵抗性高血圧患者への新たな選択肢
（聖路加国際病院循環器内科） 青木 二郎

会長特別企画

10:00-11:10

座長（東邦大学医療センター大橋病院循環器内科） 原 英彦
座長（横浜市立大学心臓血管外科） 齋藤 綾
コメンテーター（千葉大学大学院医学研究院循環器内科学） 近藤 祐介
コメンテーター（三井記念病院循環器内科） 阿佐美匡彦

拡大する低侵襲左心耳閉鎖術～胸腔鏡下外科的閉鎖術と経カテーテル閉鎖術の棲み分けは？～

CHAMPION-AFから読み解く左心耳閉鎖の適応拡大への期待
（湘南鎌倉総合病院循環器内科） 松本 崇

左心耳閉鎖の新時代 ― 完全内視鏡下AF手術が拓く治療戦略
（千葉西総合病院心臓血管外科） 中山 泰介

一般演題 セッション18 メディカルスタッフセッション

11:20-12:10

座長（小田原循環器病院心臓リハビリテーション室） 野地 剛史
座長（順天堂大学医学部附属順天堂医院放射線部） 小杉 祐司
座長（みなみ野循環器病院看護部） 佐々木はるか
コメンテーター（横須賀共済病院循環器内科） 村井 典史

VII-1 心不全患者の脆弱期に対する病院・地域薬局連携の現状：5症例の検討と示唆

（新潟医療生活協同組合木戸病院薬剤部・メディカルスタッフ） 持田 知志
加納 嘉人
（新潟医療生活協同組合木戸病院循環器内科） 池主 裕子、山口 利夫
（新潟大学医学部総合病院循環器内科） 高山 亜美、猪又 孝元

VII-2 循環器クリニックが担う心臓リハビリテーションの新たな役割と臨床実績

（ウェルビーハートクリニック港南台メディカルスタッフ） 池谷 祥吾
鈴木 遼、岩田 恭子、高橋 彩香、神崎さくら、
富田 弘美、岩田 究

VII-3 呼吸管理に難渋した高度肥満ECMO患者に対する看護介入

（横浜市立大学附属市民総合医療センター看護部メディカルスタッフ） 笹山 幸乃
荒木 昌美、柳井 琢郎、小糸 香澄、西野有里加
（横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター） 中橋 秀文

VII-4 CCU長期治療後にADL低下を呈した維持透析患者への多職種連携による転院支援

（横浜市立大学附属市民総合医療センター看護部メディカルスタッフ） 荒木 昌美
笹山 幸乃、柳井 琢郎、小糸 香澄、西野有里加
（横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター） 中橋 秀文

VII-5 医療事務における心電図検定の意義と勉強法

（昭和医科大学病院医事外来課・メディカルスタッフ） 上垣 広風

Ⅷ-6 当院におけるガラスバッジ装着率向上への取り組み

(横浜市立大学附属病院放射線部メディカルスタッフ)

山岡 広樹
坂野 智一、大塚 文之、小村 直弘、鈴木 徹、
児玉 翔、日比 潔

Ⅷ-7 心臓再同期療法における左室リード留置支援に対する2D/3D Fusionの有用性

(横浜市立大学附属市民総合医療センター放射線部)

塩入 知子
櫻田 尚武、安藤 聡志、中村 康彦
(横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター)
田口 有香、堤 勝彦、近藤 寿哉、森田 峻介、
岩橋 徳明

(横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター /
横浜市立大学医学部循環器内科学)

日比 潔

ランチョンセミナー7

12:20-13:10

共催：アストラゼネカ株式会社

座長 (横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター) 松下 絢介

SGLT2阻害薬

LVEFに基づく心不全分類の再考とSGLT2阻害薬

(国立循環器病研究センター / 臨床研究開発部・心臓血管内科)

坂田 泰彦

一般演題 セッション19 弁膜症1

13:20-14:10

座長 (聖マリアンナ医科大学循環器内科) 栗田 真吾

座長 (東京医科大学循環器内科学分野) 稲垣 夏子

コメンテーター (昭和医科大学横浜市北部病院循環器内科) 成井 崇朗

Ⅷ-8 連合弁膜症で初期の心エコー評価に苦慮した一例

(埼玉病院循環器内科)

原田 峻我
井合 渉、山岡 広季、栗原 和人、丹羽 直哉、
佐藤 篤志、田中 宏明、鶴見 昌史、小野 智彦、
松村 圭祐

Ⅷ-9 活動性感染性心内膜炎に対して自己心膜での僧帽弁形成を施行した中等度COPDの1手術例

(榑原記念病院心臓血管外科)

小嶋 一輝
矢野 敦之、角 康平、尹 亮元、河合 幸史、
大野 真、中原 嘉則、岩倉 具宏
(小倉記念病院心臓血管外科)
丸井 晃

Ⅷ-10 心調律依存性に変動する機能的僧帽弁閉鎖不全症—逆説的血行動態を呈した一例

(聖マリアンナ医科大学病院循環器内科)

武内 諒介
宮原 大輔、齋藤 亜実、庄司 達朗、田中 徹、
奥野 泰史、佐藤 如雄、栗田 真吾、出雲 昌樹、
明石 嘉浩

Ⅷ-11 TF-TAVI施行時に右総腸骨動脈領域の石灰化プラークが遊離し、人工弁と大動脈壁の間隙に捕捉された1例

(横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科)

中井 優作
松下 絢介、菊地進之介、寺坂 謙吾、服部 京子、
吉井 智洋、花島 陽平、堤 勝彦、田口 有香、
中橋 秀文、岡田 興造、岩橋 徳明、小菅 雅美、
海老名俊明
(横浜市立大学附属病院循環器内科)
日比 潔

VIII-12 低心機能患者に対し心拍動下僧帽弁置換術を施行、術中Impellaを留置し術後低心拍出症候群を回避した一例

(榊原記念病院心臓血管外科) 二木 大輝
矢野 敦之、角 康平、尹 亮元、大野 真、
丸井 晃、中原 嘉則、岩倉 具宏

VIII-13 TAVI後大動脈弁輪・基部破裂に対しsutureless valveを用いたgraft insertion techniqueで救命した1例

(千葉西総合病院心臓血管外科) 川本 脩平
中山 泰介、玉川 佳澄、樋熊 佑香、古仲 美貢、
安元 勇人、鶴田 遊野、江石惇一郎、奥木 聡志、
黒田 美穂、焼田 康紀、池谷 佑樹、伊藤雄二郎、
高橋茉莉瑛、牧野 仁人、桃原 哲也、中村 喜次

VIII-14 脳血管評価を踏まえて右鎖骨下動脈アプローチを選択し良好な経過を得たTAVIの1例

(杏林大学医学部付属病院循環器内科) 篠原 広大
三浦 陽平、百瀬 利一、岡本 陽、川村 陽大、
泉 圭一、渡部 晃佑、浦田 翔一、中田 千穂、
永松 有基、三浦 佑介、福士 圭、斉藤 竜平、
小山 幸平、合田あゆみ、河野 隆志、副島 京子

一般演題 セッション20 弁膜症2/肺高血圧

14:20-15:05

座長 (東京医科大学病院循環器内科) 山下 淳
座長 (群馬大学医学部附属病院循環器内科) 鏡 和樹
コメンテーター (横浜市立大学附属病院循環器内科) 鈴木 徹

VIII-15 弁輪拡大二弁置換術後のpannus形成による人工弁狭窄に対し、Svensson法を用いたBentall術を施行した1例

(東京慈恵会医科大学心臓外科学講座) 大川 翔
石割 圭一、雨谷 優、高木 智充、前田 恵、
津田 和政、益澤 明広、松村 洋高、儀武 路雄、
長堀 隆一、國原 孝

VIII-16 緊急手術が必要であったacute MRに対してVA-ECMO導入後緊急MICS-MVPを施行した1例

(湘南鎌倉総合病院心臓血管外科) 有村 聡士
新井 千洸、下村俊太郎、松浦 誠、長塚 大毅、
伊藤 敏明

VIII-17 PDA術後遠隔期に1群・2群・3群・4群の病態要素が関与した複合的肺高血圧症の一例

(横浜市立大学附属病院循環器内科学教室) 長島 桃子
小村 直弘、阿部茉莉愛、鈴木 徹、菅原 拓哉、
石井 怜、木野 旅人、中島 理恵、細田 順也、
小西 正紹、大塚 文之、日比 潔

VIII-18 好酸球性喘息を合併しBPAによる血行動態改善と臨床症状が乖離したCTEPHの一例

(国際医療福祉大学三田病院臨床教育センター) 笹田よぐり
(国際医療福祉大学三田病院心臓血管センター) 藤井 寛之、磯部 更紗、山口 幸宏、萬野 智子、
岩澤 仁、木村 茂樹、合屋 雅彦、田村 雄一

VIII-19 新規発症高リスク群SSc-PAHに対しソタテルセプトを含む初期3剤併用療法が著効した一例

(国際医療福祉大学三田病院初期臨床研修医) 石川ひかり
(国際医療福祉大学三田病院心臓血管センター) 磯部 更紗、藤井 寛之、山口 幸宏、萬野 智子、
岩澤 仁、木村 茂樹、合屋 雅彦、田村 雄一

Ⅷ-20 利尿薬と輸液負荷による双方向性血行動態評価が診断に有用であったPH-LHDの1例

(横浜市立大学医学部循環器内科学)

西野 圭彦

鈴木 徹、長島 桃子、山本 侑慶、阿部茉莉愛、
児玉 翔、小村 直弘、小西 正紹、大塚 文之、
日比 潔

一般演題 セッション21 全般的問題/その他

15:15-15:45

座長 (群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学) 石井 秀樹

座長 (国際医療福祉大学三田病院循環器内科) 木村 茂樹

コメンテーター (国際医療福祉大学市川総合病院循環器内科) 南 尚賢

Ⅷ-21 乳幼児期の絵本による適切な教育 0歳から命の大切さなどを教育し、科学、医学に興味のある若者を育てる

(国際医療福祉大学市川メディカルセンター循環器内科/新老人の会東京本部)

船橋 伸禎

(国際医療福祉大学市川メディカルセンター循環器内科)

田村 亜紀、遠藤 美映

(大阪保育研究所)

福井みどり、正置 友子

Ⅷ-22 心臓疾患におけるウエスト身長比と体脂肪率の関係

(横浜市立大学附属病院循環器内科学)

後藤 真央

小西 正紹、山本 侑慶、浅井 真成、峯岸慎太郎、

小村 直弘、細田 順也、大塚 文之、日比 潔

Ⅷ-23 心不全治療中に骨折をきたし、脂肪滴による肺塞栓症を発症した1例

(東京都健康長寿医療センター循環器内科)

新井 優樹

十菱 千尋、二見崇太郎、松尾 礼、石川 譲治、

原田 和昌

Ⅷ-24 複数因子が関与しアスピリン内服を契機として早期発症した顕微鏡的腸炎の一例

(東京都立広尾病院循環器科)

吉澤 魁

吉田 精孝、鈴木千紗都、横関 文弥、三浦麻利衣、

水沼 吉章、佐々木高史、山岡広一郎、新井 智之、

笠野 健介、高橋 正雄、北條林太郎、土山 高明、

深水 誠二

医療安全・医療倫理に関する講習会 (DVDセッション)

16:00-18:00

本セッションでは、第90回日本循環器学会学術集会で収録したプログラムをご覧ください。

特別企画：循環器オータムスクール

循環器領域は、「忙しそう」「手技が難しそう」「女性には続けにくいのでは」といったイメージから、女性医学生・研修医にとって心理的ハードルを感じやすい領域の一つです。本企画では、女性医学生・研修医が循環器内科を進路の選択肢として前向きに考えられるよう、サブスペシャリティ紹介、心臓カテーテル・CV・PICCのハンズオン、女性循環器医とのキャリアCaféを組み合わせた実践型セミナーを開催します。「見て、触れて、話す」体験を通じて、循環器診療の多様性と魅力を実感していただくとともに、施設や世代を越えた交流を促進し、将来の循環器医療を担う人材育成につなげることを目指します。

企画・司会

中山 敦子 先生（榊原記念病院）

カテーテルハンズオン

森田有紀子 先生（相模原病院）、青山 里恵 先生（船橋市立医療センター）、
谷地 織 先生（東京新宿メディカルセンター）

CV／PICCハンズオン

播磨 綾子 先生（虎の門病院）、下地 由華 先生（東京新宿メディカルセンター）

キャリアCafé／ファシリテーター

峯岸 昌代 先生（榊原記念病院）、西岡 文音 先生（榊原記念病院）、
松井 優子 先生（東京女子医科大学）、金木 真理 先生（榊原記念病院）、
富満 悠葵 先生（榊原記念病院）、吉田由理子 先生（東京大学）、
伊藤 佳梨 先生（聖マリアンナ医科大学）

循環器サブスペ動画協力

副島 京子 先生（杏林大学）、石津 智子 先生（筑波大学）、齋藤 綾 先生（横浜市立大学）、
森田有紀子 先生（相模原病院）、中山 敦子 先生（榊原記念病院）、
大滝 裕香 先生（榊原記念病院）、松本 知沙 先生（東京医科大学）

協力企業

テルモ株式会社、カーディナルヘルス株式会社

日本循環器学会 関東甲信越支部 主催

女性医学生・研修医のための 循環器オータムスクール

女性医学生
・
研修医対象
循環器に興味の
ある方へ

見て、触れて、学ぶ。循環器の未来につながる一步。

人 定員：24名

日 日時： 2026年9月26日(土)
9:00～12:20

場所：
地 ステーションコンファレンス
東京6F 606



当日のながれ

- 9:00-9:10 開会挨拶・趣旨説明
- 9:10-10:00 循環器サブスペ紹介 & キャリア・ライフバランス講演
- 10:00-12:10 体験セッション（3コース）
- 12:10-12:20 集合写真・閉会挨拶



プログラム内容

CATH

心臓カテーテル体験

カテーテル・ガイドワイヤー・デバイスに
実際に触れて学ぶ

CV

CV / PICC挿入体験

中心静脈カテーテルやPICCの
基本を体験的に学ぶ



キャリアカフェ

先輩女性循環器医との交流・キャリア相談



トップランナーからのサブスペ紹介（動画）

外科 / カテーテル / 不整脈 / 心不全・心臓リハビリ / エコー / 画像 / 健診・疫学

こんな方におすすめ

- ✓ カテーテルに興味があるけれど、触れたことがない方
- ✓ 循環器内科を進路として考えている方
- ✓ 女性医師のキャリアについて相談したい方

✦ 仲間とともに学び、
✦ 未来のキャリアを描こう。

オータムスクールのお申込みはこちら⇒
締切：9月19日



問い合わせ先

日本循環器学会 関東甲信越支部事務局

jcs-unei@supportoffice.jp

第281回 日本循環器学会 関東甲信越地方会

心不全療養指導士 Cafe

心不全再入院予防指導管理料

導入済？これから？予定なし？心不全地域連携について話し合おう

2026年9月26日（土） 16:00－18:00

ステーションコンファレンス東京 6F 602CD

 心不全療養指導士 更新単位：5単位 取得可能

プログラム

内容

パネルディスカッション / グループワーク

司会：中島美知穂（都立墨東病院）

榛葉恵（榊原記念病院）

ファシリテーター：林太祐（日本医科大学多摩永山病院）、大舘祐佳（日産厚生会玉川病院）、加川陽子（榊原記念病院）、水谷美緒（東京女子医大病院）ほか



参加について

対象

心不全療養指導に関心のある方
（心不全療養指導士資格の有無は問いません）

定員

40名（先着順：右下のQRコードよりお申込みください）
※参加の際は、関東甲信越地方会参加料（1,000円）が必要となります。

お問い合わせ

日本循環器学会 関東甲信越支部事務局
jcs-unei@supportoffice.jp

参加申込はこちら⇒
締切 2026年9月19日



皆さまのご参加を心よりお待ちしております 



一般社団法人日本循環器学会 支部規程

(総則)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という）各地区の支部（以下「各支部」という）の遵守すべき事項を定める。

(事務局)

第2条 各支部の事務局は、日本循環器学会定款施行細則に定める地区に置く。

(目的および事業)

第3条 各支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 地方会の開催
- 2) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての講習会等の開催
- 3) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 4) その他目的の達成に必要な事業

(会員)

第4条 各支部の会員は、当該地区に所属する日本循環器学会の正会員および準会員とする。

2. 支部名誉会員/支部特別会員/支部顧問等の設置は各支部役員会で定めることとする。

(社員)

第5条 社員とは、日本循環器学会定款及び定款施行細則に基づき選出された各支部に所属する社員をいう。

(支部長)

第6条 各支部に支部長1名を置く。

2. 支部長は定款に基づき選出された支部所属理事の協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(支部役員)

第7条 各支部に支部役員を若干名置く。

2. 支部役員は支部所属理事及び支部長の推薦で選出された会員とし、支部長を除いた支部役員を支部社員総会で承認する。
3. 支部役員は、地方会、事業計画・報告、予算・決算、その他支部長の求めに応じて支部運営にあたる。
4. 支部役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(支部監事)

第8条 各支部に支部監事を若干名置く。

2. 支部監事は支部長が候補者を会員から推薦で選出し、支部社員総会で承認する。
3. 支部監事は支部の監査を行い、不正の事実があれば支部社員総会及び日本循環器学会本部に報告する。
4. 支部監事の任期は2年とし、連続して就任できる期数は3期までとする。

(支部幹事)

第9条 各支部に支部幹事を若干名置く。

2. 支部事務局担当幹事およびJCS-ITC担当幹事の設置は必須とする。
3. 支部幹事は支部長が会員から選出する。
4. 支部幹事は支部長を補佐し、役員会/社員総会において会計報告及びJCS-ITC業務の報告等を行う。
5. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(支部評議員)

第10条 各支部に支部評議員を置くことができる。

2. 支部評議員は会員から選出する。
3. 支部評議員は支部業務を補佐する。
4. 支部評議員の選出方法/任期/定年等は各支部役員会で定めることとする。

(地方会会長)

第 11 条 各地方会に会長 1 名を置く。

2. 地方会会長は支部役員会の推薦で選出し、支部社員総会において承認する。
3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理/事業内容を支部役員会及び支部社員総会に報告する。
4. 地方会会長の任期は、主催地方会にかかる業務が完了するまでとする。

(支部役員会)

第 12 条 支部役員会は、支部役員で構成する。

2. 支部役員会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の承認
 - 2) 地方会会長の選出
 - 3) 支部運営上重要な規則の承認
 - 4) その他本支部の運営に必要な事項の確認 (JCS-ITC 報告など)
3. 予算もしくは事業計画に大幅な変更が見込まれる場合には臨時支部役員会を開催しなければならない。
4. 支部役員会は支部長が招集し議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。
5. 支部役員会は過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部役員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
6. 支部役員会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部社員総会)

第 13 条 支部社員総会は、社員で構成する。

2. 支部社員総会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の確認
 - 2) 決定された支部長の確認
 - 3) 支部役員・支部監事・地方会会長の承認または解任
 - 4) 支部運営上重要な規則の確認
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部社員総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の互選により選出する。
4. 支部社員総会は支部社員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
5. 支部社員総会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部評議員会)

第 14 条 支部評議員会は、支部評議員で構成する。

2. 支部評議員会は年 1 回以上開催し、以下の事項の報告を受ける。
 - 1) 予算・決算
 - 2) 事業計画および事業報告
 - 3) 地方会会長及び地方会開催地
 - 4) 支部長の選出結果
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部評議員会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。

(支部事務局業務)

第 15 条 支部事務局業務とは、支部役員会、支部社員総会、支部評議員会の運営、各事業の補助等をいう。

2. 支部事務局業務は、原則支部年会費収入の範囲内で収支均衡に努めなければならない。
3. 支部事務局業務にかかる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、支部事務局担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。
4. 各支部は全事業の会計報告を毎月すみやかに本部事務局に報告することとする。

(地方会)

第 16 条 各支部は地方会を年 1 回以上開催する。

2. 地方会に演題を提出する者は原則として会員でなければならない。
3. 地方会収支について、原則、収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
4. 地方会において新たな試みを実施する場合は、事前に地方会会長と支部長で協議を行うこととする。
5. 地方会における参加費等の現金取り扱いについて、不正や過誤が発生しない体制を整えなければならない。
6. 地方会の経費精算は、地方会会長もしくは会長が定めた者が内容を確認したうえで実施する。なお全ての精算を原則地方会終了後 2 ヶ月以内に完了させること。

(JCS-ITC 講習会)

第 17 条 各支部は JCS-ITC 講習会を JCS-ITC 担当幹事が計画を取り纏め、開催する。

2. 講習会収支について、原則収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
3. JCS-ITC 講習会に関わる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、JCS-ITC 担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。

附則

- 1) 本規則は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

支部コンプライアンス・倫理規程

（目的）

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会全支部（以下「支部」という）におけるコンプライアンスに関し基本となる事項を定め、もって健全で適正な学会運営及び社会的信頼の維持に資することを目的とする。

（定義）

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 1) コンプライアンスとは、法令、各支部の諸規則を遵守することをいう。
- 2) 支部役職者とは、支部に所属する支部長・支部役員・支部監事・支部幹事・地方会会長をいう。
- 3) 支部職員とは、支部の事務を担当する職員をいう。
- 4) コンプライアンス事案とは、支部の構成員にかかわる法令又は定款等の本学会諸規則や支部会則等に違反、または違反するおそれのある事案をいう。

（支部役職者及び支部職員の責務）

第3条 支部役職者・支部職員は、支部の定める理念および目標を実現するため、それぞれの責任を自覚し、コンプライアンスの重要性を深く認識するとともに、人権を尊重し、高い倫理観を持って行動しなければならない。

2. 支部役職者・支部職員は、次に掲げることを理由として、自らのコンプライアンス違反行為の責任をのがれることはできない。

- 1) 規程について正しい知識がなかったこと
- 2) 規程に違反しようとする意思がなかったこと。
- 3) 支部の利益に資する目的で行ったこと

附 則

- 1) 本規則は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部運営内規

(総則)

第1条 この内規は、一般社団法人日本循環器学会 支部規程を関東甲信越支部（以下「本支部」という。）において運用するために必要な事項を規定し、円滑な学会活動を推進することを目的とする。

(支部事務局)

第2条 本支部における支部事務局を東京都新宿区笹笥町43 新神楽坂ビル2F 有限会社ビジョンブリッジ内に設置する。

(支部長)

第3条

- 2年毎に行われる理事選出選挙の後、支部規程第6条2項に沿い支部長を決定するが、支部長の任期開始日は7月1日からとする。
- 支部長は日本循環器学会の関東甲信越地区で選出された理事の互選によって決定され、当該年度における本支部の事務を処理する。
- 支部規程第6条の4項に沿い、支部長の任期は2年とし再任を妨げないとするが、本支部における支部長の連続して就任できる期数は2期（通算4年）までとする。
- 支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(副支部長)

第4条 本支部に副支部長を1名を置く。

- 副支部長は支部所属理事の中から協議で決定し、支部社員総会において報告する。
- 支部長に事故あるとき、又は支部長が別の支部へ異動したとき、副支部長を新たな支部長とする。この場合の任期は、退任した支部長の任期に準ずる。
- 副支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を遵守しなければならない。

(支部役員)

第5条

- 支部役員は、支部規程第7条1項に沿い、支部所属理事の他、支部に所属する社員から支部長が推薦した者が務める。
- 支部役員の定数は、本支部においては16名程度とする。内訳としては支部に所属する理事（関東甲信越地区、女性、小児科、外科）とその他の役員とする。
- 支部役員は、関東甲信越地区の理事が推薦する、教授または部長以上の支部所属の社員とし、任期2年で再選は妨げない。関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
- 支部役員は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部監事)

第6条

- 支部規程第8条1項に定める支部監事の定数は、本支部においては2名とする。
- 支部規程第8条2項に定める支部監事の選出について、支部長が候補者を社員から選出することとする。なお独立性を鑑み、支部役員、支部幹事との兼務は不可とする。

4. 監事は本支部の会計その他の事務遂行状況の監査を行うものとする。その任期は2年とし、再任はさまたげない。
5. 支部監事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部幹事)

第7条

2. 支部規程第9条に定める支部幹事は、本支部においては支部事務局担当幹事1名、JCS-ITC 講習会担当幹事1名、ダイバーシティ推進委員会担当幹事1名とし、支部役員との兼務も可能とする。
3. 支部幹事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
4. 支部事務局担当幹事ならびに JCS-ITC 担当幹事は、それぞれの業務における月度毎の収支状況をモニタリングし、予算進捗確認を行わなければならない。予算に対し収支悪化の場合は、対策を検討し支部長へ報告すること。また収支改善の場合は、その資金活用方法について検討し支部長へ報告することとする。
5. 支部幹事は、会員の中から選出することとし、関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
6. 支部幹事は、それぞれの業務において投資（JCS-ITC 講習会用のマネキン、事務局運営用のパソコン等）が必要な場合は、事業計画、予算において明確化し、支部役員会・支部社員総会において発言し、承認を得なければならない。

(支部評議員)

第8条

2. 支部規程第10条に定める支部評議員は、現任の支部評議員の推薦により選出し、支部社員総会において承認する。
3. 推薦人は、支部役員会予定日より15日以前に候補者の推薦書を支部事務局へ提出する。
4. 有資格者でありながら推薦人が見当たらない場合は、支部長が推薦人となることが出来る。
5. 支部評議員の被推薦資格は、以下の3項をすべて満たすこととする。
 - 1) 65歳以下で7年以上日本循環器学会会員であること
 - 2) 講師又は医長以上である者、または、本会学術集会において特別講演講師、教育講演講師、シンポジウム、パネルディスカッション、ファイヤーサイドカンファランスの演者を担当したことがあるもの
 - 3) 本支部地方会において過去5年間に3演題以上発表（共同演者でよい）していること。但し、異動および転籍により関東甲信越支部の会員となった場合は、他支部における演題発表を特例として認める。
また、基礎研究者・外科医・小児科医については別途考慮する。

(地方会会長)

第9条

2. 支部規程第11条に定める地方会会長の選出方法は以下のとおりとする。
 - 1) 資格 : 教授または部長以上の本支部評議員
 - 2) 推薦方法 : 評議員による他薦または自薦に基づき、支部長が提案し支部役員会で選出の上、支部社員総会で承認する。
 - 3) 推薦時期 : 支部役員会開催予定日より15日以前に支部長に推薦書を送付する。
3. 地方会会長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

4. 地方会会長は、「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」に定められた様式の利益相反の自己申告書を支部長経由で本会へ提出しなければならない。
5. 地方会会長は、地方会開催場所・日程の決定を行う。
6. 地方会の主題および演題の選定および採択は、会長が裁量する。
7. 地方会実施にあたり、会長の推薦にて会長校事務局長を任命してよい。会長校事務局長は、会長からの指示に基づき、地方会運営を補助することとする。
8. 地方会運営にあたる企画会社手数料が過多とならないことを事前に確認しなければならない。
9. 地方会開催にあたり収入の受入れ、費用の精算の為、会長名において専用口座を開設する。口座開設と同時にキャッシュカードを作成する場合は、会長から使用者・保管者を指名し、それ以外のものが利用出来ない体制を構築しなければならない。
10. お届け印、通帳は会長または会長が指名した者が保管する。保管にあたっては必ず施錠し、本人のみが解錠出来る体制としなければならない。

(支部役員会、支部社員総会、関東甲信越地区理事会、支部評議員会)

第10条

2. 支部規程第12条に定める支部役員会は、年 1 回開催とする。
3. 支部規程第13条に定める支部社員総会は、年 1 回開催とする。
4. 関東甲信越地区理事による理事会は、年 2 回開催とする。
5. 支部評議員会は、年 3 回開催とする

(支部事務局業務)

第11条

2. 支部規程第15条における支部事務局業務は、事務局担当幹事を補佐し、円滑に業務を遂行することを目的として、本業務に従事する人員を支部役員会の承認のもと採用しても構わない。雇用条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。
3. 上記 1 項の方法以外に、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。(契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。)

(地方会)

第12条

2. 支部規程第16条 1 項に定める地方会について、本支部は毎年 4 回地方会を開催する。
3. 地方会の名称は、第〇〇回日本循環器学会関東甲信越地方会とする。
4. 本支部地方会に関する事項は、本会の会告及びその他の手段により会員に広報する。また、その抄録データを本会に提出する。
5. 地方会において市民公開講座及び託児室設置を実施する場合は、本支部より、助成金 90 万円を地方会事務局に交付する。助成金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
6. 地方会の参加費は要領に別途定めたとおりとするが、参加費を変更する場合は支部役員会での承認を必要とする。
7. 地方会での寄付の受入は、「寄付金取扱規程」に基づき対応する。
8. 地方会における華美な懇親会の開催を禁じる。

9. 地方会当日の現金（参加費）の取扱いにおいて、不正や過誤が発生しないよう関係するスタッフの教育を十分行わなければならない。
10. 地方会経費の精算は、リスク管理の観点から現金での精算を禁じ、原則請求書対応とする。請求書対応が難しい場合は、企画会社・スタッフによる立替精算を行い、後日レシートや領収書をもとに精算する。
11. 地方会終了後、余剰金が発生した場合、支部管轄の地方会口座に振込し、次回以降の地方会補助金とする。その後、口座は解約する。
12. 非会員の招請者、支部役員への待遇については要領に別途定めたとおりとするが、これ以外の対応を行う場合は、支部役員会での承認が必要とする。
13. 地方会時の専門医単位登録について、本会から明示された「単位登録の運営方法について」に沿って対応しなければならない。
14. 地方会演者は、発表時に定められた様式「利益相反の自己申告書」を提示する必要がある。
15. 本支部地方会会長は、若手循環器専門医の育成を目的として、Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Awardを設け、各賞最優秀演題発表者1名、優秀賞2名を顕彰する。実施要領は別途定めた通りとする。

（JCS-ITC 講習会）

第13条

2. 年4回のインストラクター一覧更新時に、本会事務局より受領したインストラクター一覧を支部長ならびに幹事に提出すること。
3. JCS-ITC 講習会の事務業務（受講料受付・謝金や立替金の精算 等）については支部事務局において実施する。ただし業務の円滑化を目的として、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。（契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。）
4. コース開催日程は、各支部ホームページに掲載することとする。
5. 業務管理を明確化することを目的として、JCS-ITC 業務専用の口座を開設してよい。専用口座の取扱いについては、要領に別途定めたとおり慎重に行う。
6. コース開催時にコースディレクター等が立替精算をした場合は要領に別途定めたとおりに行い、不必要な経費支出は慎むこと。
7. コース終了後、コースディレクターは参加インストラクター・タスクを一覧化し（以下インストラクター・タスク一覧）、各自立替えしたコース開催地までの交通費を纏め、支部事務局（または外部委託している業者・個人）へ提出しなければならない。また、受講料収益と使用経費を一覧化し、コース毎の収支実績を作成し、合せて支部事務局へ提出する。
8. 各コースディレクターがコースに必要な資金を事前に仮払金として引出して使用する場合は、予め仮払金申請書を作成し、JCS-ITC 幹事のメール承認を要する。
なお、ITC 幹事がコースディレクターとなる場合は、支部長のメール承認を要する。
9. 経費精算において、振込対応では無く、上記の仮払金を活用し現金にて謝金精算や立替精算を行う場合は、必ず受領者から支部宛ての領収書を頂き、証憑として支部事務局へ提出しなければならない。
10. 支部事務局（または外部委託している業者・個人）は、提出されたインストラクター・タスク一覧、旅費申請書、領収書等に基づき、謝金（交通費・宿泊費含む）・立替金の精算を行う。また謝金源泉

税分の納税を行う。（謝金金額についてはJCS-ITC 規定に則る。また旅費申請書、領収書等の証憑が無いものの精算は出来ない。）

11. 支部事務局は、収入・経費を取纏め（漏れが無いこと、経費使用理由等が明確であること等を再確認）の上、本部事務局へ提出し会計ソフトへの入力を依頼する。

（支部委員会）

第14条

2. 支部長は、本支部の事業の円滑な推進を図るため必要があると認めるときは、役員会の決議を経て、委員会を設置することができる。なお、これを廃止する場合も同様とする。
3. 前条の委員会は、必要に応じて部会、小委員会を組織することができる。
4. 委員会は、目的、委員構成、業務などを規定した支部委員会内規を作成し、役員会の承認を得なければならない。
5. 委員会は、委員長1名および委員若干名で組織する。
6. 委員長は支部長が支部役員の中から指名し、役員会の議を経て選任する。
7. 必要に応じて委員の中から副委員長を置くことができる。
8. 副委員長、委員は委員長が指名し、役員会の議を経て選任する。

附則

- 1) この内規は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この内規改正は、支部役員会において審議し、支部社員総会にて決定する。

令和元年9月28日一部改訂
令和2年9月5日一部改訂
令和5年10月1日一部改訂
令和7年9月13日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 学術委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部学術委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、日本循環器学会関東甲信越支部の学術活動を支援することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会の学術面の向上について検討・協議し、役員会および会長に上申する。

2) その他学術活動に対する支援に必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 情報・広報委員会内規

（設置）

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部情報・広報・啓発委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

（目的）

第2条 本委員会は、本会のホームページやインターネットを利用した学会員への情報の提供、学術成果の社会への公開と還元、国内外の関連学会の情報提供交換等に関する活動を実施することを目的とする。

（組織）

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

（委員）

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

（委員会）

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

（業務）

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 学会のホームページの作成、管理及び運用
- 2) インターネットによる本会の情報サービス
- 3) 国内外の関連学会等との情報交換と広報活動
- 4) その他必要な業務。

（計画・予算）

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

（報告）

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

（改廃）

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 ダイバーシティ推進委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部ダイバーシティ推進委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、循環器学分野における男女並びに多種多様人材の共同参画の推進を図り、男女並びに多種多様人材の共同参画の視点に立った教育・研究・就業体制を確立するため、企画・立案・実施に当たることを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。
2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。
2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。
1) 国内外の関連学会・団体等との情報交換および連携
2) 地方会でのダイバーシティ推進セッション等の企画立案・実施
3) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 チーム医療委員会内規

（設置）

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部チーム医療委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

（目的）

第2条 本委員会は、地方会におけるコメディカルとの関わり方の検討および、コメディカル関係の諸学会との連絡調整を行う。

（組織）

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

（委員）

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

（委員会）

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

（業務）

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会におけるコメディカルの位置付けの検討および、コメディカル関係学会との連絡調整をする。

2) 関係諸学会からの依頼に応じて、本委員会において代表の派遣などを選考する。

3) 委員は、関係諸学会への渉外を担当し、外部機関の要請に応じてこれらが主催する会議等に本学会の代表として出席する。

4) その他必要な業務

（計画・予算）

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

（報告）

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

（改廃）

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 地方会あり方検討委員会内規

（設置）

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部地方会あり方検討委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

（目的）

第2条 本委員会は、地方会を活性化することを目的とし、地方会のあり方を検討・協議し、役員会および会長に上申する。

（組織）

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

（委員）

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

（委員会）

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

（業務）

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 若手、女性、メディカルスタッフの参加促進策を検討・協議する。

2) 地方会プログラムの充実化を検討・協議する。

3) その他必要な業務

（計画・予算）

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

（報告）

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

（改廃）

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 予防委員会内規

（設置）

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部予防委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

（目的）

第2条 本委員会は、循環器疾患等の予防に関する事柄について、協議・検討し、役員会上申することを目的とする。

（組織）

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

（委員）

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

（委員会）

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

（業務）

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) すべての国民の循環器疾患等の予防を推進する業務。

2) 予防活動を積極的に推進し、その重要性を社会に発信する業務。

3) 循環器疾患等の予防研究の実施ならびに支援。

4) その他、循環器疾患等の予防に関する必要な業務。

（計画・予算）

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

（報告）

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

（改廃）

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

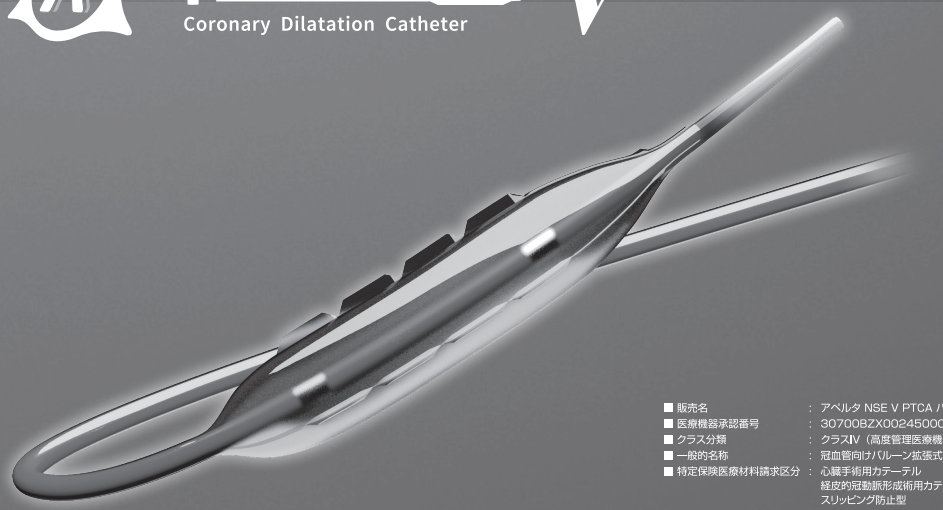
MEMO

MEMO

MEMO

Aperta NSE[®] V

Coronary Dilatation Catheter



- | | |
|----------------|--|
| ■ 販売名 | : アペルタ NSE V PTCA バルーンカテーテル |
| ■ 医療機器承認番号 | : 30700BZX00245000 |
| ■ クラス分類 | : クラスIV (高度管理医療機器) |
| ■ 一般的名称 | : 冠血管向けバルーン拡張式血管形成術用カテーテル |
| ■ 特定保険医療材料請求区分 | : 心臓手術用カテーテル
経皮的冠動脈形成術用カテーテル
スリッピング防止型 |

Aperta NSE[®] X

PTA Balloon Dilatation Catheter



- | | |
|----------------|---|
| ■ 販売名 | : PTAバルーンカテーテル GDM06 |
| ■ 医療機器承認番号 | : 30700BZX00094000 |
| ■ クラス分類 | : クラスIV (高度管理医療機器) |
| ■ 一般的名称 | : バルーン拡張式血管形成術用カテーテル |
| ■ 特定保険医療材料請求区分 | : 血管内手術用カテーテル
PTAバルーンカテーテル
ボディワイヤー型 |



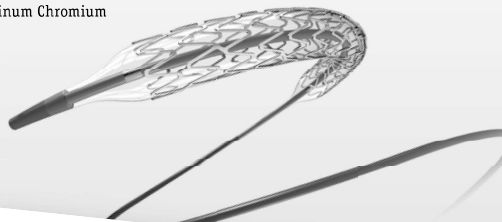
製造販売

ニプロバスキュラー株式会社
愛知県名古屋市中区栄四丁目5番3号
KDX 名古屋栄ビル5 階
(資料請求先)

2026年6月作成

AGENT™
Paclitaxel Drug Coated Balloon

SYNERGY™ XD
Everolimus-Eluting Platinum Chromium
Coronary Stent System



WOLVERINE™
Cutting Balloon™ Dilatation Device

ROTAPRO™
Rotational Atherectomy System



AVVIGO™
Guidance System II

OPTICROSS™ HD Plus
60 MHz Coronary Imaging Catheter

COMET™ II
プレッシャーガイドワイヤ



PCIの未来を照らす、多くの選択肢

販売名: ウルヴァリン コロナリー カットングバルーン
医療機器承認番号: 22800BZX00341000
販売名: ロータブレーカーPRO
医療機器承認番号: 23000BZX00060000

販売名: ロータブレーカー
医療機器承認番号: 20900BZY00356000
販売名: シナジー ステントシステム
医療機器承認番号: 22700BZX00372000

販売名: オプティクロス超音波イメージングカテーテル
医療機器承認番号: 22500BZX00274000
販売名: Agent バクリタキセルコーティッド バルーンカテーテル
医療機器承認番号: 30400BZX00272000

販売名: コメットプレッシャーガイドワイヤ
医療機器承認番号: 22800BZX00225000

製品の詳細に関しては添付文書等でご確認いただくか、弊社営業担当へご確認ください。
©2023 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.
All trademarks are the property of their respective owners.

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
本社 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス
www.bostonscientific.jp
IC-1607101-AA

幸せをつなぐパートナーでありたい



株式会社アペックス・インターナショナル東京
〒108-0075 東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー3F
TEL.03-6712-8971 FAX.03-6712-8972

横浜支店/横浜DC

〒235-0033 神奈川県横浜市磯子区杉田5-32-50
SBSロジコム新杉田物流センター WEST 2F
TEL.045-770-5518 FAX.045-770-5519

宇都宮営業所

〒321-0967 栃木県宇都宮市鶴田2-5-2
TEL.028-678-2011 FAX.028-678-2012

東京営業所/東京DC

〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1 センタービル4F
TEL. 03-6404-8190 FAX.03-6404-9636

静岡営業所

〒420-0821 静岡県静岡市葵区袖木1002 アスリス1F
TEL.054-655-4661 FAX.054-655-4662

挑戦するのは、

希望を届けるため。

CRC
治験コーディネーター



SMOのリーディングカンパニー
株式会社EPLink

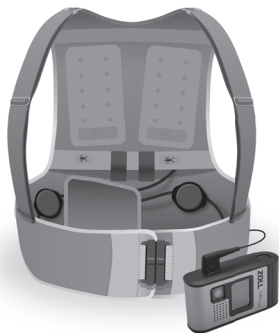
今日も人知れず
未来に向けて戦っている誰かがいる。
病で苦しむ人を助けたい。
新薬を待っている人に届けたい。
誰かの希望になりたい。

その想いは限られた人だけが
抱くものではありません。
私たちEPLinkは
新薬開発に関わる人々の懸け橋となって
未来の薬のコーディネーターに
取り組んでいます。

次はあなたが誰かの希望に。
CRCという選択肢。



WCD Channelは着用型自動除細動器(WCD)について医療従事者間で知識を共有するための新しい動画配信サイトです。医療従事者を第一に考えて、実際に臨床活用している医師や医療従事者からWCDの有用性、活用法、留意点など、診療にお役立ていただく際に押さえておくことと便利な情報を集約しています。ぜひご視聴ください。



医療機器承認番号：22500BZ100017000
販売名：着用型自動除細動器 LifeVest

© 2026 ZOLL Medical Corporation. ZOLLおよびLifeVestはアメリカ合衆国および日本におけるZOLL Medical Corporationの登録商標です。

プログラム例 プログラムは随時更新します。

タイトル	演者
小児への着用型自動除細動器(WCD)の有用性と使用経験	埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科 教授 住友 直方 先生
心不全医が考える心不全患者の突然死予知と予防	順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科学講座 准教授 末永 祐哉 先生
着用型自動除細動器(WCD)の有用性	北里大学医学部 循環器内科 診療教授 庭野 慎一 先生
医療費助成制度を上手く活用して最善の治療を受けるために	北里大学病院 トータルサポートセンター ソーシャルワーカー 宮本 竜也 先生
小児の心臓性突然死リスクと管理	藤田医科大学 医学部 小児科 講師 齋藤 和由 先生
虚血性心疾患患者における心突然死リスク評価と予防	帝京大学医学部附属病院 循環器内科 助教 日置 結文 先生
WCDを活用したICD適応判定の実際	弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座 准教授 佐々木 真吾 先生
WCD着用における臨床工学技士の関わり	北里大学病院 ME部 武田 章数 先生
着用型自動除細動器(WCD)の使用経験	金沢大学附属病院 循環器内科 助教 津田 豊暢 先生
低心機能を有する新規発症心不全患者における突然死および致死性心室性不整脈の発現について	東京女子医科大学病院 循環器内科 講師 菊池 規子 先生
非虚血性心疾患患者の心臓突然死一次予防を考える	神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 特命教授 福沢 公二 先生
国循における着用型自動除細動器(WCD)の役割	国立循環器病研究センター 副院長 草野 研吾 先生
一次予防症例に対するWCD使用の実際	国立循環器病研究センター 上田 暢彦 先生
心筋梗塞後症例に対するWCDの適応	小倉記念病院 副院長 循環器内科主任部長 安藤 献児 先生
腫瘍循環器における不整脈	がん研究会 有明病院 院長補佐 腫瘍循環器・循環器内科部長 志賀 太郎 先生
着用型自動除細動器の使用経験	山口大学医学部附属病院 検査部 講師 福田 昌和 先生
QT延長症候群から心室頻拍・心室細動をきたし着用型自動除細動器により救命し得た血液透析患者例	土浦協同病院 副院長、循環器内科 部長 蜂谷 仁 先生
当施設でのWCD使用状況	自治医科大学 内科学講座 循環器内科学部門 講師 小森 孝洋 先生
地域医療でも可能な心臓突然死予防	トヨタ記念病院 循環器内科 医長 上久 保陽介 先生
当院でのWCD管理の取り組み	大分大学医学部 循環器内科・臨床検査診断学講座 助教 米津 圭佑 先生
若手医師による病棟でのWCD導入	仙台厚生病院 佐藤 允俊 先生
北海道大学における着用型自動除細動器(WCD)の活用	北海道大学病院 循環器内科 講師 甲谷 太郎 先生
本来必要なWCDのICにしていますか？	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 宮崎 良央 先生

【選任製造販売業者】

旭化成ゾールメディカル株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋2-1-1 興和西新橋ビル
TEL: 03-6273-3534 (CMS事業本部)
URL: <https://www.ak-zoll.com/>

ZOLL LifeVest

LV-F1 250310 Rev.2.0



高脂血症治療剤

パルモディア[®] XR 錠 0.2mg・0.4mg
PARMODIA[®] XR TABLETS 0.2mg・0.4mg (ベマフィブラート徐放錠)

薬価基準記載

処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。



製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)

興和株式会社

東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

2024年11月作成



薬価基準収載

選択的尿酸再吸収阻害薬 一高尿酸血症治療剤一

ユリス錠 [®] 0.5mg
1mg
2mg

〔ドチヌラド〕 処方箋医薬品^注

URECE[®] Tablets 0.5mg・1mg・2mg

注）注意—医師等の処方箋により使用すること

※効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む
注意事項等情報等は電子添文をご参照ください。



販売＜文献請求先及び問い合わせ先＞
持田製薬株式会社
東京都新宿区四谷1丁目7番地
TEL 0120-189-522（くすり相談窓口）

製造販売元＜文献請求先及び問い合わせ先＞

株式会社 富士薬品
〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-12-5 沢田ビル6階
TEL 048-644-3247（カスタマーサービスセンター）

2025年1月作成（N6）

Canon

患者さんのために、
あなたのために、
そして、
ともに歩むために。

Made For life

／Made For Lifeは、キヤノンのメディカル事業のスローガンです。



予防医療というゼロ地点から、早期発見、治療、再発予防までの
道程を人々が暮らす「まち」で、医療機関の皆さまと、
ともに歩む一。

「健康」を取り巻くさまざまな課題と向き合う中で、新しい医療の
あり方が育まれ、国内外でいくつもの共創が生まれています。

健やかな未来を目指す人々を一つのビジョンで結び、支える
「わかりやすい医療画像」の高みへ。

キヤノンは、日々アップデートされる社会と臨床のニュースタ
ンダードの中で画像診断装置の真価を追求し続けています。

「いま」が、わかるから「みらい」を目指す力が、生まれる。

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Z000324-01

患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病気を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ

